

芸術と哲学

担当教員 松田 直成

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

芸術や文化と密接に関係する事柄、例えば、言葉や記号、芸術の解釈、美学理論などを主題的に論じている哲学者の思想を取り上げ、彼らの全体的な哲学体系（認識論・世界観・人生論、等々）や、それらの哲学体系を生み出した時代背景なども含めて考察することで、幅広い視野と豊かな創造力を養うことを目的とする。今年度は、前期に記号論、後期に解釈学を取り上げる。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス	16	後期ガイダンス
2	序論：記号とは？	17	解釈学の前史（1）：古代
3	パースの記号論（1）	18	解釈学の前史（2）：近世
4	パースの記号論（2）	19	シュライエルマッヒェルの解釈学（1）
5	パースの記号論（3）	20	シュライエルマッヒェルの解釈学（2）
6	パースの記号論（4）	21	シュライエルマッヒェルの解釈学（3）
7	パースの記号論（5）	22	ディルタイの解釈学（1）
8	モリスとベンゼの記号論（1）	23	ディルタイの解釈学（2）
9	モリスとベンゼの記号論（2）	24	ディルタイの解釈学（3）
10	ソシュールの記号論（1）	25	ハイデガーの実存哲学（1）
11	ソシュールの記号論（2）	26	ハイデガーの実存哲学（2）
12	ソシュールの記号論（3）	27	ハイデガーの実存哲学（3）
13	ソシュールの記号論（4）	28	ガダマーの解釈学（1）
14	ソシュールの記号論（5）	29	ガダマーの解釈学（2）
15	前期まとめ	30	後期まとめ

【履修上の注意事項】

哲学とは、本来、いろんな問題に対して自分で考えること。そのような意味から、試験には前・後期とも、小論文（400～500字）を課し、与えられたテーマについて、各自がどのように考えるかを書いてもらう。

【評価方法】

定期試験（前・後期、各40%）の点数を基礎に、平常点（出席等、20%）を加味して、総合的に判断する。

【テキスト】

適宜、授業中に資料を配付する。

【参考文献】

参考文献等は、その都度、授業の中で紹介する。

美と芸術

担当教員 小穴 晶子

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

どんなに技術的にはすぐれた表現であっても、心がないものはつまらないと思うときがある。それではこの心とは何だろうか。こう問うた時、その心とは美的な表現の人生や人類にとっての意味に他ならない。美や芸術は人生・人類にとって必要か、必要ならば何故なのかを哲学的な立場から問うた古今東西の思想を学び、最終的には自ら考える力を身につけることを目標とする。

【授業の展開計画】

前期は一番我々にとって身近な日本の古代思想から始め、まず東洋の思想を概観する。後期は西洋思想の基本を理解することを目標とし、古代のギリシャ思想から始める。キリスト教、イスラム教で古典的思想の考察を終え、最後に予定している現代思想・実存主義は全体のまとめとしての自ら考える力とは何かを考える上での手掛かりとする。

週	授業の内容	週	授業の内容
1	はじめに（授業の進め方、評価、など）	16	ギリシャの哲学（1）ソクラテスの世界観
2	美学・芸術学とは何か	17	（2）プラトンの世界観
3	日本古代「タマフリ」の思想	18	（3）プラトンの美学思想
4	「タマフリ」思想と日本的イメージ	19	（4）アリストテレスの世界観
5	仏教（1）原始仏教	20	（5）" " 美学思想
6	"（2）小乗から大乘へ	21	新プラトン主義（1）プロティノスの世界観
7	"（3）密教と密教美術	22	"（2）" " の美学思想
8	仏教と芸道	23	キリスト教（1）キリスト教の世界観
9	中国思想（1）儒教思想の世界観	24	"（2）アウグスティヌスの美学思想
10	"（2）" " の美学思想	25	"（3）" " の音楽論
11	"（3）老荘思想の世界観	26	イスラム教（1）イスラム教の世界観
12	"（4）" " の美学思想	27	"（2）イスラム美術
13	"（5）陰陽五行の世界観	28	実存主義（1）M・ハイデガー
14	"（6）" " の美学思想	29	実存主義（2）G・マルセル
15	東洋の美学思想のまとめ	30	解釈学 P・リクール

【履修上の注意事項】

自らの問題意識をもって積極的に参加してほしい。質問はいつでも歓迎。
*教室の容量を超える履修希望者があった場合には担当者の判断によって人数制限をすることがある（その場合には原則として上級生が優先）

【評価方法】

単位修得のためには2/3以上の出席、前期末試験、後期末試験の得点それぞれ50点以上が必要。

【テキスト】

「なぜ人は美を求めるのか」小穴晶子著（ナカニシヤ出版）

【参考文献】

授業中に指示する。

民族音楽学概論

担当教員 小穴 晶子

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

西洋近代（19・20世紀）の芸術の歴史は芸術各ジャンルの純粋化を推し進めた。絵は見るだけ、音楽は聴くだけ。21世紀はどうなるだろうか。各ジャンルの融合の方向を無視することはできないだろう。そしてたぶん、地球上のさまざまな文化も融合の方向を模索する。グローバル化の進む現代社会において異文化理解はますます重要な課題であるが、音楽はそのための最適な材料である。実際に音楽を聴くことを重視して授業を進める。世界の多様な音楽（舞踊、演劇を含む）の知識を各人の専門分野での創作・表現のヒントにして欲しい。

【授業の展開計画】

アジアとアフリカの民族音楽を考察する。地理的に日本に近い隣国、韓国から始めしだいに西に向かって、東アジア、東南アジア、南アジア、西アジア、アフリカへと考察を進める。「総論」として各地域の文化的・思想的背景を説明しその地域の特色をつかみ、それらが具体的にどのように音楽に反映しているかという点を考察の軸とする。映像・録音資料などをできる限り使って、音・イメージを実際に聴いて感じ、理解することを目標とする。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	はじめに：民族音楽とは何か	16	東南アジア2、タイ、カンボジア
2	東アジア1-1、韓国、総論	17	＼ 3、ミャンマー
3	＼ 1-2、＼、宮廷楽	18	南アジア1-1、総論、インド、宗教音楽
4	＼ 1-3、＼、民俗楽	19	＼ 1-2、インド、舞踊
5	＼ 1-4、＼、民俗楽	20	＼ 1-3、インド、器楽曲
6	＼ 1-5、＼、民俗楽	21	＼ 1-4、インド、劇音楽
7	＼ 2-1、中国、総論	22	＼ 2、インド周辺部
8	＼ 2-2、＼、孔子の時代	23	西アジア1、総論、トルコ
9	＼ 2-3、＼、漢民族	24	＼ 2、イラン
10	＼ 2-4、＼、少数民族、中国周辺部	25	＼ 3、イラク、レバノン
11	東南アジア1-1、総論	26	＼ 4、エジプト、スーダン
12	＼ 1-2、インドネシア、バリ	27	アフリカ1、総論、マグリブ地方
13	＼ 1-3、インドネシア、バリ	28	＼ 2、マリ、カメルーン
14	＼ 1-4、インドネシア、ジャワ	29	＼ 3、コートジボアールほか
15	これまでの考察のまとめ	30	全体のまとめ

【履修上の注意事項】

自らの問題意識をもって積極的に参加してほしい。質問はいつでも歓迎。

*教室の容量を超える履修希望者があった場合には担当者の判断によって人数制限をすることがある（その場合には原則として上級生が優先）

【評価方法】

単位修得のためには2/3以上の出席、前期末試験、後期末試験の得点それぞれ50点以上が必要。

【テキスト】

なし

【参考文献】

授業中に指示する。

東アジアの美術

担当教員 青木 淳

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

昨今、西欧において東アジアの芸術に対する再評価がなされてきている。それはかつて異文化という言葉の範疇で捉えられていたものから、その独自性や宗教性を認められていることと連鎖している。この講義ではアジアにおける美術の発生、また地域や時代によってその表情を変えてゆく様式美の問題についても考えてみたい。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	アジア美術の広がり	16	シルクロードの周辺1 ステップロード
2	偶像以前1 小アジア～	17	シルクロードの周辺2 タクラマカン砂漠
3	偶像以前2 黎明期の中国	18	シルクロードの周辺3 海の道から
4	偶像以前3 黎明期の中国	19	シルクロードの周辺4 山東半島
5	異文化接触の諸相1 ヘレニズム	20	東アジアの葬送美術1 中国
6	異文化接触の諸相2 ヘレニズム2	21	東アジアの葬送美術2 朝鮮半島
7	仏教文化の広がり1 ガンダーラ	22	東アジアの葬送美術1 日本
8	仏教文化の広がり2 マトゥーラ	23	東アジアの中の日本
9	仏教文化の広がり3 後漢～三国	24	縄文～弥生時代の美術
10	秦の始皇帝の時代 兵馬俑	25	古墳時代の美術
11	仏教文化の広がり4 隋	26	飛鳥・白鳳時代の美術
12	仏教文化の広がり5 唐	27	天平時代の美術
13	仏教文化の広がり6 宋以後	28	平安時代の美術
14	朝鮮半島の古代1	29	東アジア美術の特性
15	朝鮮半島の古代2	30	総括

【履修上の注意事項】

受講生が少人数の場合、ゼミナール形式で行ないます。また折にふれて模写などを行ないます。

【評価方法】

年度末レポート(50%)。出席(50%)。

【テキスト】

パワーポイント、ビデオなどを使用します。

【参考文献】

必要に応じて指示します。

映像と芸術

担当教員 西村 智弘

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

今日の多様化する映像表現に対応した知識や理解力を養う。古今東西の斬新な表現を試みている作品（短編が中心）を上映し、技法やコンセプト、歴史的な文脈や社会的背景などに注目しながら検証する。さまざまなジャンルの作品（ドラマ、ドキュメンタリー、アニメーションなど）、多様なメディア表現（フィルム、ビデオ、コンピュータ・グラフィックス、インターネットなど）を取り上げ、芸術表現としての映像を総合的に考える。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

- 1 近年のショート・フィルム
- 2 映像と合成1（オプティカル合成とブルーバック合成）
- 3 映像と合成2（さまざまな合成による表現）
- 4 映像と合成3（アニメーションと実写の合成）
- 5 技法と表現1（長回し撮影）
- 6 技法と表現2（主観ショットと客観ショット）
- 7 技法と表現3（焦点深度）
- 8 技法と表現4（高速度撮影、コマ落とし、逆回転など）
- 9 アニメーションによる表現1（絵によるアニメーション）
- 10 アニメーションによる表現2（立体アニメーション）
- 11 アニメーションによる表現3（さまざまな技法によるアニメーション）
- 12 音楽と映像の同調
- 13 ダンスと映像
- 14 映像によるパフォーマンス
- 15 長編作品：（未定）
- 16 映像表現の実験1（アブストラクトの系譜）
- 17 映像表現の実験2（シュルレアリスムの系譜）
- 18 映像表現の実験3（ファウンドフッテージ）
- 19 映像表現の実験4（ピクシレーション）
- 20 ドキュメンタリー映画1（社会運動としての作品）
- 21 ドキュメンタリー映画2（プライベートドキュメンタリー）
- 22 ドキュメンタリー映画3（ドキュメンタリーの実験）
- 23 コンピュータ・グラフィックスの歴史1：1960 - 70年代
- 24 コンピュータ・グラフィックスの歴史2：1980 - 90年代
- 25 コンピュータ・グラフィックスの歴史3：最近の作品と傾向
- 26 インターネットと映像1：インターネットの影響
- 27 インターネットと映像2：ネットを活かした映像表現
- 28 プロジェクション・マッピング
- 29 インタラクティブな映像表現
- 30 長編作品：（未定）

【履修上の注意事項】

授業項目はあくまで予定なので、順番通りにやるとは限らないし、すべての項目をやるともかぎらない。

【評価方法】

前期・後期レポート（各1600字程度）と出席。レポート50%、出席50%の割合で評価を決定する。

【テキスト】

なし

【参考文献】

なし

文学と美術

担当教員 中村 隆夫

配当年次 1～4年

単位区分 選択

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

19世紀末には常に神秘で怪しげな雰囲気が漂っています。美術ではモロー、ルドン、クノップフ、ジャン・デルヴィルら象徴主義の画家たちを取り上げるとともに、文学ではユイスマンス、ジョルジュ・ロデンバック、他に薔薇十字展、錬金術、サロメの変容などについて話をする。

【授業の展開計画】

- 第1週 19世紀パリの近代化の栄光と悲慘について考察する。
- 第2週 同上。
- 第3週 象徴主義の先駆者としてのゴッホについて考察する。
- 第4週 同上。
- 第5週 象徴主義の先駆者としてのゴーギャンについて考察する。
- 第6週 同上。
- 第7週 ギュスターヴ・モローについて考察する。
- 第8週 同上。
- 第9週 ルドンについて考察する。
- 第10週 同上。
- 第11週 象徴主義におけるメランコリーのテーマについて考察する。
- 第12週 象徴主義における死のテーマについて考察する。
- 第13週 同上。
- 第14週 同上。
- 第15週 前期のまとめ。
- 第16週 ジョルジュ・ロデンバックの『死都ブリュージュ』について考察する。
- 第17週 同上。
- 第18週 サロメの変容と「宿命の女」について考察する。
- 第19週 同上。
- 第20週 オスカー・ワイルドについて考察する。
- 第21週 同上。
- 第22週 オスカー・ワイルドの戯曲『サロメ』について考察する。
- 第23週 同上。
- 第24週 アンドロギュヌスの美学について考察する。
- 第25週 同上。
- 第26週 パルザックの『セラフィタ』他などについて考察する。
- 第27週 神秘主義の系譜について考察する。
- 第28週 同上。
- 第29週 タロットの神秘について考察する。
- 第30週 後期のまとめ。

【履修上の注意事項】

初めて聞く名前が多いことと思うが、新しい概念や美に出合える筈なので、強い好奇心を抱き続けることが重要。

【評価方法】

前後期テスト60%、授業出席40%。

【テキスト】

特になし。必要に応じてプリントを配布する。

【参考文献】

『象徴主義 モダニズムへの警鐘』中村隆夫（東信堂）

人間関係と芸術

担当教員 栗原 美穂子

配当年次 1～4年

単位区分 選択

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

自分の心を大切にすることで人の心も大切にすることができるようになると思います。I am OK.（私は大切、価値がある、大丈夫）& You are OK.そこからコミュニケーションが始まります。授業の中でコミュニケーションを楽しめるようになれるお手伝いができたら、と思います。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内 容

- 1 総論：グループでのワーク、芸術療法の説明
- 2 構成的グループエンカウンター：他者から見た自分の印象を知る。（自己理解、他者理解）
- 3 "：物語を一緒に作る。（自己理解、他者理解）
- 4 "：物語の続きのまとめ。発表。
- 5 自律訓練法、ストレスマネジメント：心身のリラックス+（人からほめられる等の）イメージ
- 6 エゴグラム（心理テスト）：自分の行動パターンを知る。
- 7 交流分析：二人の間で起きていることを分析する方法。
- 8 YGテスト（心理テスト）：エゴグラムとの関連から/自分の性格について知る。
- 9 精神病の説明。
- 10 映像で知る「自閉症」（ビデオ鑑賞）：ドラマを見て特徴を知る。かかわり方を考える。
- 11 映像で知る「うつ病」（ビデオ鑑賞）："
- 12 カウンセリングについて：カウンセリングの基礎を知る。
- 13 相互フェルトセンス描画法。：自分の気持ち、相手の気持ちを線、色、絵で表現。
- 14 精神分析について。想定書簡法：精神分析の基礎、書くということでの癒し。
- 15 行動療法：行動理論に基づいての行動変容。
- 16 認知行動療法：思い込みをゆるめることで心を楽しむ練習をする。
- 17 スクイグル：人の書いた線に自分の線を重ねる。
- 18 集団スクイグル：グループでそれぞれの線を活かして絵にする。
- 19 グループワーク：グループでのコンセンサス実習。
- 20 コラージュ：コラージュ療法の体験。
- 21 "：グループでコラージュ。
- 22 茶道における芸術、人間関係。
- 23 映像で知る 茶道。：ビデオを見て茶道の芸術、コミュニケーションについて知る。
- 24 家族療法：偽装家族の一人になって粘土作品を作る。
- 25 "：偽装家族全員で一つの粘土作品を作る。
- 26 サイコドラマ：心理劇の説明。ケース理解の実習。グループワーク。
- 27 アサーショントレーニングの手法を用いて：上手に自己主張してみよう。
- 28 自分史を「私の木」の実習で語る。
- 29 音楽療法、ダンスセラピー：音楽やダンスによる癒し。
- 30 人間ビンゴによるクラスの人々の確認。シェアリング。

【履修上の注意事項】

授業の流れ 学生さんの動きを見ながら進めるので、大幅に授業項目の順位が変わることがあります。グループ作業時にグループへの参加がづらい方はパスできます。見学のみの参加で十分です。ただし各自の心をつめるワークが多いので参加なさらない方は静かに見学していただけたらと思います。

【評価方法】

前・後期のレポートと出席状況で評価します。また、授業中、時々作品ができあがります。その作品の提出も参考にします。（作品への評価は致しません。）レポート前期・後期各々30点、出席状況10点、授業中できた作品10点、授業の態度20点（参加がつかなくて見学の場合の減点なし。授業でのコミュニケーション以外の私語は真面目に聞きたい方の妨げになるので減点いたします。）

【テキスト】

なし

【参考文献】

なし

芸術家と法律

担当教員 中本 繁実

配当年次 1～4年

単位区分 選択

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

いまや知的財産権「産業財産権＋著作権」の時代といわれています。そこで、特許法、実用新案法、意匠法、商標法、著作権の生かし方、特許などの出願手続き、権利の取り方や新製品開発の大切さを習得します。前期は、実務を中心に、後期は、特許法、実用新案法、意匠法、商標法の概要を理解できるように講義をすすめていきます。身近な題材、具体的な事例で特許、実用新案、意匠、商標、著作権について、解説しますから、初学者でも大丈夫です。講義内容はすぐに活用できる実践的なものです。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

1～3 産業財産権制度のあらまし：特許、実用新案、意匠、商標の違い

4 著作権の取り方：権利は創作した時点で自然に発生、無登録主義

5 出願中のできごとについて：出願から登録までの流れ

6 特許の取り方：物の発明、方法の発明

7～10 特許願の書類の書き方：願書、特許請求の範囲、明細書、図面、要約書

11 特許願の書き方演習・ポイント解説

12 意匠の取り方：物品の形状、模様、色彩

13 意匠登録願の書類の書き方：願書、図面

14 商標の取り方・商標登録願の書類の書き方：願書、商標見本

15 前期の講義内容のまとめ：知的財産権のまとめ

16 これだけは知っておきたい特許法の知識：産業財産権、発明、自然法則

17 " : 目的、定義、登録要件

18 " : 特許出願、特許な特許出願

19 " : 補正、出願公開

20 " : 特許査定、拒絶査定、登録

21 " : まとめ、理解度確認練習問題(1)

22 " : まとめ、理解度確認練習問題(2)

23 これだけは知っておきたい実用新案法の知識：実用新案（考案）、まとめ、理解度確認練習問題

24 これだけは知っておきたい意匠法の知識：目的、定義、登録要件

25 " : 目的、定義、登録要件

26 " : まとめ、理解度確認練習問題

27 これだけは知っておきたい商標法の知識：目的、定義、登録要件

28 " : まとめ、理解度確認練習問題

29 後期の講義内容のまとめ：知的財産権のまとめ

30 前・後期の講義内容のまとめ：知的財産権のまとめ

【履修上の注意事項】

知的財産権「産業財産権＋著作権」は、何が保護の対象になるか、どのような手続きで登録になるのか、権利の内容はどういうものか、といったことを事例でわかりやすく解説します。

【評価方法】

1. 試験（前期30点、後期30点） 2. 課題レポート（前期10点、後期10点）

3. 学習意欲：出席点を加味（前期10点、後期10点）

【テキスト】

知財ビジネス入門・新標準テキスト「知的財産権は誰でもとれる（日本地域社会研究所刊）」中本繁実著

【参考文献】

はじめの一步「一人で特許の手続きをするならこの1冊」(自由国民社刊) 中本繁実著・「これでわかる立体図の描き方」(パワー社刊) 中本繁実著・その他、授業内容に応じてプリントを配布します。

現代社会と経済

担当教員 大嶋 淳俊

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

本講義は、日本の経済・社会の状況や直面する課題をなるべくわかりやすく解説し、理解を深め、皆さんの今後のキャリア形成に役立てることを目標としています。

最初に、経済ニュースの読み方、資料の調べ方など基本的な力をつけます。そして、ビジネス社会の動向、IT革命の動き、人と組織の関係変化など、多角的な視点で経済社会を理解し・考える力を養います。

特に、将来の仕事を考えたり、就職活動に役立つように配慮します。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内 容

- 1 「なぜ美大で経済・経営を学ぶのか?」、キャリアデザインの考え方
- 2 経済社会に関するリサーチ手法
- 3 経済ニュースの読み方、選び方
- 4 戦後日本経済の歴史
- 5 戦後日本経済の歴史
- 6 産業構造の変化、IT革命と知識社会、少子・高齢化
- 7 国民経済と金融
- 8 日本の経済・社会の現状 : 政府白書で読む経済(経済財政白書等)
- 9 日本の経済・社会の現状 : 政府白書で読む経済(中小企業白書等)
- 10 日本の経済・社会の現状 : 政府白書で読む経済(中小企業白書等)
- 11 現代社会の企業経営論: 企業とは何か
- 12 現代社会の企業経営論: 組織と戦略
- 13 現代社会の企業経営論: 経営戦略、経営管理
- 14 現代社会の企業経営論: マーケティングの基礎
- 15 現代社会の企業経営論: マーケティングと広告
- 16 現代社会の企業経営論: ブランド戦略
- 17 現代社会の企業経営論: 運営管理
- 18 現代社会の企業経営論: 財務会計
- 19 現代社会の企業経営論: 組織・人材マネジメントの基礎
- 20 現代社会の企業経営論: 組織・人材マネジメントの実践
- 21 現代社会の企業経営論: 国際経営 - グローバル時代の経営
- 22 組織と個人のリーダーシップとマネジメント
- 23 持続可能な経済・経営
- 24 新しいIT技術・サービス
- 25 新しいIT技術・サービス
- 26 ベンチャーと起業論
- 27 ビジネスプラン : ビジネスプランの基礎
- 28 ビジネスプラン : ビジネスプランの試作・発表
- 29 ビジネスプラン : ビジネスプランの評価・改善
- 30 総括: キャリアデザインと「芸術と経済・経営の関係」再考

【履修上の注意事項】

日々の社会生活や就職活動に役立つように、実践的な講義を心がけます。

現代の情報化社会を生きる上で必要なインターネットなど情報技術(IT)を使いこなす方法を紹介します。

授業の理解を深めるため、簡単なミニレポートを課すことがあります。

【評価方法】

レポート(前期: 30点、後期: 30点)、平常点(ミニレポートの提出、授業中の発言、出席点など: 40点)を目安とします。

【テキスト】

教科書『キャリアデザインのため経済・経営入門』(大嶋淳俊 著)。詳細は最初の授業で説明します。

【参考文献】

授業中に参考文献・関連ウェブサイト等を詳しく紹介します。

例: 『経済財政白書』『中小企業白書』『情報通信白書』など(全てネット上で無料公開)。

思想と表現

担当教員 松浦 弘明

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

現代においても欧米人の考えの基本となっているキリスト教文化を、美術作品を通して学ぶ。前期はシスティーナ礼拝堂の壁画を通して聖書の内容や聖堂の装飾プログラムについて解説し、後期はキリスト教と美術の関係を探るため古代から中世にかけての彫刻や壁画を概観する。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス	16	ガイダンス
2	キリスト教とは	17	古代ギリシア美術の変遷
3	天地創造からノアまで	18	ヴァチカンの古代彫刻とミケランジェロ
4	システィーナ礼拝堂天井の主題	19	ギリシアからローマへ
5	アブラハムからヤコブまで	20	ポンペイ秘儀荘の壁画
6	ヨセフの物語 ボルゲリーニ邸の装飾	21	キリスト教成立の過程
7	システィーナ礼拝堂側壁のモーセ伝	22	初期キリスト教時代の聖堂と装飾
8	システィーナ礼拝堂側壁のモーセ伝	23	古代と中世の美術様式の違い
9	システィーナ礼拝堂側壁のキリスト伝	24	初期キリスト教時代の聖堂装飾プログラム
10	システィーナ礼拝堂側壁のキリスト伝	25	初期中世の写本芸術
11	側壁の装飾プログラム	26	紀元1000年が意味するもの
12	天井の装飾プログラム	27	盛期中世の聖堂の建築様式
13	《キリストの誘惑》の図像解釈	28	彫刻の復活
14	側壁の制作過程	29	中期ビザンティンの聖堂とモザイク
15	まとめ	30	まとめ

【履修上の注意事項】

積極的に授業にのぞんでほしい。

【評価方法】

出席(50%)および後期末の筆記試験(50%)。前期末に実技課題を与えることもある。授業内容をしっかり把握し、それに対し自分なりの意見をもてたかどうかを判断する。

【テキスト】

なし

【参考文献】

なし

社会と芸術

担当教員 中村 隆夫

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

フランス革命、第一次世界大戦、スペイン内戦という激動の時代にあつて、詩人や画家たちがどのような制作活動を行なつたかということに焦点を当て、ゴヤ、ダダイズム、シュルレアリスム、ピカソ、ガルシア・ロルカ、ジョン・レノンについて講義をします。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

- 1 ゴヤ：ゴヤの生涯と社会の状況について考察する。
- 2 同上：ゴヤの作品について考察する。
- 3 同上：同上。
- 4 ダダイズム：チューリヒ・ダダと第一次世界大戦の関係について考察する。
- 5 同上：ニューヨーク・ダダについて考察する。
- 6 同上：パリ・ダダとブルトン、ツアラの論争について考察する。
- 7 同上：ダダの美術作品について考察する。
- 8 同上：同上。
- 9 同上：マン・レイの写真について考察する。
- 10 同上：同上。
- 11 シュルレアリスム：シュルレアリスムとは何かについて考察する。
- 12 同上：シュルレアリスムの絵画について考察する。
- 13 同上：同上。
- 14 アンドレ・ブルトンの『ナジャ』について考察する。
- 15 前期のまとめ。
- 16 スペイン内戦：1936年に勃発したスペイン内戦について考察する。
- 17 同上：同上。
- 18 ピカソ：ピカソの少年期・青年期の作品について考察する。
- 19 同上：同上。
- 20 同上：キュビズムについて考察する。
- 21 同上：スペイン内乱と《ゲルニカ》について考察する。
- 22 同上：同上。
- 23 ロルカ：ロルカの生涯について考察する。
- 24 同上：戯曲『蝶の呪い』、『血の婚礼』、『イエルマ』について考察する。
- 25 同上：同上。
- 27 ジョン・レノン：ジョン・レノンの文化的意義について考察する。
- 28 同上。
- 29 映画「パッション」について考察する
- 30 後期のまとめ。

【履修上の注意事項】

激動の時代を生きた詩人・画家たちの生き様を知るとともに、社会と芸術がどのように関わつたかを理解することが重要です。

【評価方法】

前後期テスト60%、授業出席40%。

【テキスト】

特になし。

【参考文献】

特にないが、授業で必要に応じて紹介する。

生物と芸術

担当教員 柴田 眞美

配当年次 1～4年

単位区分 選択

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

美術表現においては、感性の表出が最重要である。そのとき、生物(授業では人体)の姿によせる美的共感が、「美しい形態」を創造する際の大きなエネルギーになり得る。また、対象の形態的特質の客観的把握も重要である。このことより、人体の形態を美的な方面から客観的に観察することを目的とし、解剖学、プロポーション、体型、成長、骨学、筋学、外皮、比較解剖学などについて講義し、あわせて作例を、美術解剖学的な視点で見えていく。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

- 1 序説：授業内容、受講上の留意点
- 2 概論：美術解剖学とは何か
- 3：解剖の学と生象の学
- 4：美術解剖学小史(美術家と解剖学・生体学)
- 5 ヒトの概観：細胞から個体へ
- 6：有機的構成、側差
- 7：方位・方向
- 8 生体学 Somatology：プロポーション
- 9：体型
- 10 骨学 Osteology：骨格、骨の発生、種類、連結
- 11：脊柱
- 12：胸部
- 13：上肢帯
- 14：自由上肢骨
- 15：下肢帯
- 16 骨学実習 1：骨標本の観察とスケッチ
- 17 骨学 Osteology：自由下肢骨
- 18：腕勢と脚勢
- 19：頭蓋
- 20 筋学 Myology：筋の種類、形態、補助装置
- 21：体幹の筋：上肢を動かす筋
- 22：体幹の筋：呼吸筋
- 23：脊柱の筋
- 24：上肢の筋
- 25：下肢の筋
- 26：頭、頸の筋
- 27 比較解剖学(動物との比較)
- 28 生体学 Somatology：外皮(皮膚とその付属物・皮膚の変形物)
- 29 骨学実習 2：骨標本の骨の部分名の観察とスケッチ
- 30 総まとめ(人体の構造と美術表現をふり返る)

【履修上の注意事項】

私語厳禁。

生命への畏敬の気持を持って、真摯な態度で望んで下さい。

【評価方法】

出席状況50%(2/3の出席を採点対象とする)及び後期試験50%。

【テキスト】

プリントを配布します。

【参考文献】

森 於菟 他 「分担解剖学」(金原書店、1950初版～)

健康科学と社会生活

担当教員 伊藤 洋子

配当年次 1～4年

単位区分 選択

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

健康な社会生活をするにはどうしたらよいかを多角的に考察する。前期及び、後期前半は、現代生活におけるストレスの増大に対処するための健康に関する諸知識を理解し、心と身体の疾病から心身を守っていく生活法を身につけることを学ぶ。後期後半はこれまでの学習からスポーツを多角的に考え、実践し、生涯にわたって健康な生活を送っていくために、「自己の体力に合った運動処方」を作成し日常生活にとり入れていく方法を学習する。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

- 1 オリエンテーション・生命誕生：今年度の授業内容の説明と生命誕生のビデオ
- 2 健康思想史：近代以降の身体観と疾病観の変遷
- 3 健康思想史：現代社会の健康観
- 4 心の健康 心の病気：社会的適応・心のトラブル（神経症・身心症）
- 5 "：躁うつ病
- 6 "：思春期境界症候群・ストレスによるうつ病
- 7 "：統合失調症
- 8 "：多重人格・せん妄
- 9 心理テスト：集団ロールシャッハテストにより、社会的適応傾向を知る
- 10 脳と芸術：脳の構造 - 無意識と創造
- 11 "：脳の構造 - 知覚と芸術
- 12 "：脳の構造 - 記憶と芸術
- 13 遺伝子：人ゲノム解読・性格との関連
- 14 人体の生理 身体の構造と機能：消化器系を主にして、電子顕微鏡によるビデオも使用
- 15 "：循環器系を主にして、電子顕微鏡によるビデオも使用
- 16 "：肝臓（壮大な化学工場としての働き）について学ぶ
- 17 人体の病理 エイズの知識と対策：免疫のしくみ・HIVのメカニズム・予防対策について
- 18 生活習慣病と動脈硬化：動脈硬化の機序と予防
- 19 "の症状と予防：主な生活習慣病の症状と予防
- 20 "の症状と予防：ガンの予防と最新療法をビデオで学ぶ
- 21 保健 飲酒・喫煙・睡眠：飲酒・喫煙の害と質の高い睡眠について
- 22 栄養：栄養吸収のメカニズムと食品・サプリメントについて
- 23 応急処置法：身近で起き易い怪我等の応急処置法と
AED（自動対外式除細動器）の使用法の演習をする
- 24 生涯スポーツ 脳とスポーツ：スポーツをする時・観る時の脳のメカニズムを知る
- 25 自然探索：目黒林試の森・自然探索
- 26 自然探索：目黒林試の森・自然探索
- 27 12分間走：自分に合った運動を日常生活にとり入れる為に、自己の運動能力を確認する
- 28 体力診断テスト：自分に合った運動を日常生活にとり入れる為に自己の運動能力を確認する
- 29 自己の体力に合った運動処方の作成：日常生活に生かす運動メニューを作成する
- 30 スポーツマスコミ：テレビ・新聞・雑誌のスポーツ報道の有り方を検証する

【履修上の注意事項】

12分間走・体力診断テストの授業は運動しやすい服装（特にシューズ）を準備して下さい。

【評価方法】

成績評価：出席状況(60%)・レポート（前期20%・後期20%）により評価する。

【テキスト】

授業毎に、ノート用教材を配布する。

【参考文献】

授業毎に、参考資料を配布する。

宗教学

担当教員 秦 剛平

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

キリスト教美術を学ぶ者にとって、あるいは西欧の思想や哲学を学ぶ者にとって、ユダヤ教やキリスト教を知っておくことは大切である。この通年の講義では、前期では旧約聖書の世界を、後期では新約聖書の世界を語る。講義レベルは高いが、後期の授業では図像を多用するので、すべての学生が講義にはついていけると思う。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

- 1 旧約聖書の世界：オリエントの世界と神々(シュメール文化、ギルガメシュ、創造神話など)
- 2 同上：創世記の2つの創造物語(1章1節から2章3節まで、2章4節以下)、図像
- 3 同上：カインとアベル - 原初的宗教感情の発露、図像
- 4 同上：族長物語 - アブラハム物語、図像
- 5 同上：族長物語 - ヤコブ、ヨセフ物語、図像
- 6 同上：モーセ物語 - その生涯、図像
- 7 同上：ヨシヤ物語 - カナン征服と大量殺戮思想の誕生、図像
- 8 同上：サムソン物語とサウル物語 - 神政から王政へ
- 9 同上：ダビデ物語について(ダビデとゴリアテ)、図像
- 10 同上：ソロモン物語 - 中央聖所としての神殿、そして制度、図像
- 11 同上：神殿陥落とバビロン捕囚
- 12 同上：旧約聖書の外典文書と偽典文書について(1)
- 13 同上：旧約聖書の外典文書と偽典文書について(2)
- 14 同上：旧約聖書の外典文書と偽典文書について(3)
- 15 同上：前期の講義内容についての質疑と応答
- 16 新約聖書とキリスト教：講義全体の展望について
- 17 同上：ヘレニズム世界について(アレクサンドロスの登場)
- 18 同上：ディアスポラ(離散のユダヤ人について)
- 19 同上：イエス時代のユダヤ教(ビデオ使用)
- 20 同上：歴史のイエスと信仰のキリスト(イエスの語録について)
- 21 同上：ガリラヤのイエス、図像
- 22 同上：十字架のイエスと復活、図像
- 23 同上：迫害について 誤解と無理解と
- 24 同上：キリスト教の国教化について
- 25 同上：1世紀の聖人と聖女たち、図像
- 26 同上：2世紀の聖人と聖女たち、図像
- 27 同上：中世の聖人と聖女たち、図像
- 28 同上：マリア信仰について、図像
- 29 同上：キリスト教徒反ユダヤ主義、図像
- 30 同上：後期の講義内容についての質疑と応答

【履修上の注意事項】

とくになし。「いつも楽しく」がわたしのモットー。脱線の多い授業にしたい。

【評価方法】

前期試験(感想文の提出)、後期試験(設問20題のうち1題選択)、出席日数(3分の2以上で、これ以下の出席は試験の結果に影響を与える)を加味して、総合的に判断する。

【テキスト】

「七十人訳ギリシア語聖書 創世記」 秦剛平訳 (河出書房新社)

【参考文献】

「描かれなかった十字架」 秦剛平 著 (青土社)

「コンスタンティヌスの生涯」 秦剛平 訳 (京都大学学術出版会)

アメリカ文化史

担当教員 中村 寛

配当年次 1～4年

単位区分 選択

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

この講義では、映像や文学、論文等を手がかりに、アメリカの中の複数の文化、そしてそれらの背後にある複数の歴史を捉え分析していきます。諸々の文化現象に関する知識を獲得しつつも、すぐに「分かった・理解した」と考えることも、逆にすぐに「分からない・理解できない」と考えることも避けて、どちらかの状態に落ち着かないまま、しぶとく考え続けようとする姿勢を獲得していってもらえればと思います。そして、考えるために必要な「ことば」も獲得していってもらえればと思います。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

- 1 イントロダクション : 講義の進め方に関するオリエンテーション等
- 2 「開拓者」たちは誰によって発見されたか : アメリカ先住民とヨーロッパ人との遭遇を考える
- 3 「開拓者」たちは誰によって発見されたか : 映画『ミッション』、映画『ダンス・ウィズ・ウルブズ』
- 4 「開拓者」たちは誰によって発見されたか : ツヴェタン・トドロフ『他者の記号学』
- 5 奴隷制を支えた理性 : 奴隷制と南北戦争を考える、映画『アミスタッド』、ポール・ギルロイ『ブラック・アトランティック』
- 6 奴隷制を支えた理性 : シドニー・ミンツ『アフリカン・アメリカン文化の誕生』
- 7 奴隷制を支えた理性 : ヴォルフガング・シヴェルプシュ『敗北の文化』
- 8 移民たちが出会ったアメリカ : 「移民問題」の系譜とその現在を考える
- 9 移民たちが出会ったアメリカ : 映画『ギャング・オブ・ニューヨーク』
- 10 移民たちが出会ったアメリカ : 映画『移民』
- 11 第二次世界大戦のアメリカ : 戦争への道のりを考える
- 12 第二次世界大戦のアメリカ : アメリカの戦争を考える
- 13 目に見える差別と闘うということ : 公民権運動とその他の社会運動を考える
- 14 目に見える差別と闘うということ : 映画『ミシシッピ・パーニング』
- 15 前期の総まとめ・総復習
- 16 自由なきアメリカ : 赤の「脅威」と赤狩りの恐怖を考える
- 17 自由なきアメリカ : 映画『真実の瞬間』
- 18 自由なきアメリカ : レイ・ブラッドベリ『華氏451度』
- 19 ベトナム戦争 : ベトナム戦争と反戦運動を考える
- 20 ベトナム戦争 : 映画『7月4日に生まれて』
- 21 ベトナム戦争 : 映像『ベトナム戦争の衝撃』
- 22 「人種問題」の現在 : 現代における「人種」をめぐる言説を考える
- 23 「人種問題」の現在 : 映画『クラッシュ』
- 24 「人種問題」の現在 : 都市政策と自然災害を考える
- 25 サブカルチャーと文化の境界 : 暴力と権力、敵対性と憎悪を考える
- 26 サブカルチャーと文化の境界 : 映画『ドゥ・ザ・ライト・シング』
- 27 「9・11」とその周辺 : 残虐性、拷問、痛み、身体の問題を考える
- 28 「9・11」とその周辺 : 映像『NHK 微笑と虐待 証言アブグレイブ刑務所事件』
- 29 「9・11」とその周辺 : タラル・アサド『自爆テロ』
- 30 後期の総まとめ・総復習

【履修上の注意事項】

観た映像や講義の内容を踏まえて短いレビューをほぼ毎回書いてもらいます。提出してもらったレビューや、議論した際の貢献度等で、平常点をつけますので、出席が必須となります。様々な「問い」を自分のなかで立て、それを皆に向けて発せられるように心がけてください。なお、社会の状況や受講者の関心によって、内容が変更されることもあります。

【評価方法】

出席率やレビューの内容等の平常点が50パーセント。前期・後期の期末試験が各25パーセント。

【テキスト】

必要な文献・資料等はコピーして配布します。

【参考文献】

『現代アメリカのキーワード』 矢口祐人・吉原真里 編著 2006年 (中公新書) 等

宗教と芸術

担当教員 青木 淳

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

本年度は宗教芸術の特質を、宗教や信仰という精神文化の側面から考えてみたい。特に信仰の誕生とその延長線上にある芸術活動や経済活動の問題などについても触れてみたい。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス	16	ディスカッション11 仏教的なもの
2	テーマ 偶像崇拜をめぐる問題	17	ディスカッション12 キリスト教的なもの
3	ディスカッション1 はじめのかたち	18	ディスカッション13 イスラム教的なもの
4	ディスカッション2 かたちの意味	19	ディスカッション14 その他
5	ディスカッション3 用の美	20	テーマ 死をめぐる問題
6	ディスカッション4 絵画と彫刻	21	ディスカッション15 絵画
7	テーマ アジアにおける異文化接触	22	ディスカッション16 彫刻
8	ディスカッション5 アジアの内と外1	23	ディスカッション17 文学
9	ディスカッション6 アジアの内と外1	24	ディスカッション18 写真
10	ディスカッション7 アジアの内と外1	25	テーマ 現代芸術と宗教の関係
11	ディスカッション8 アジアの内と外1	26	ディスカッション19 信仰と想像力
12	テーマ 宗教的体験とその芸術	27	ディスカッション20 救済のかたち
13	ディスカッション9 奇跡の記録1	28	ディスカッション21 現代の宗教
14	ディスカッション10 奇跡の記録2	29	ディスカッション22 宗教の未来像
15	テーマ 救済観の諸相	30	総括

【履修上の注意事項】

ゼミナール形式で開講（20名程度に限定）。受講生それぞれが独自の宗教文化論を展開できるようになってほしい。そして積極的にディスカッションや発表に参加してもらいたい。

【評価方法】

ディスカッション、発表（年1回以上）、出席 50%
レポート（後期） 50%

【テキスト】

必要に応じて指示する

【参考文献】

必要に応じて指示する

西洋美術と聖書

担当教員 秦 剛平

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

キリスト教に関係する西洋美術入門。画像を沢山お見せしたい。

【授業の展開計画】

週	授業項目	内容
1	旧約の図像	講義の目的について
2	同上	：天地創造の画像と人類誕生の画像
3	同上	：洪水物語と図像 - 人は何を恐れたのか？
4	同上	：アブラハム物語と画像
5	同上	：ヨセフ物語と画像
6	同上	：モーセ誕生と出エジプトの画像
7	同上	：荒れ野の中の彷徨と十戒授与の画像
8	同上	：カナンの地征服の画像
9	同上	：ダビデとゴリアテの画像
10	同上	：ソロモンとシバの女王、ソロモンと神殿の画像
11	同上	：ソロモンの神殿の破壊とバビロン捕囚の画像
12	同上	：旧約外典の画像（ユディト物語）
13	同上	：旧約外典の画像（エステル記）
14	同上	：旧約外典の画像（スザンナ物語）
15	同上	：前期の授業内容について質疑と応答
16	新約の図像	講義の目的について
17	同上	：ガリラヤのイエスの画像
18	同上	：十字架に架けられるまでの画像
19	同上	：十字架はりつけの画像
20	同上	：十字架降下の画像
21	同上	：埋葬と復活の画像
22	同上	：最後の審判の画像
23	同上	：カタコンベの画像
24	同上	：1世紀の聖人と聖女たちの画像
25	同上	：1世紀の聖人と聖女たちの画像（つづき）
26	同上	：2世紀と3世紀の聖人と聖女の画像
27	同上	：4世紀から6世紀までの聖人と聖女たちの画像
28	同上	：マリア信仰の画像
29	同上	：反ユダヤ主義の画像
30	同上	：後期の授業内容について質疑と応答

【履修上の注意事項】

とくになし

【評価方法】

前期試験（感想文の提出）、後期試験（課題提出）、出席日数（出席が3分の2以上を満たさない場合は、試験結果に影響を及ぼす）を加味して総合的に判断。

【テキスト】

なし

【参考文献】

秦剛平著『旧約聖書を美術で読む』『新約聖書を美術で読む』『名画で読む聖書の女たち』『反ユダヤ主義を美術で読む』（以上青土社）

特講Ⅰ 文学研究

担当教員 中村 隆夫

配当年次 1～4年

単位区分 選択

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

さまざまな詩人や小説家の作品に触れることによって、さまざまな世界観やものの考え方に親しむことを目的とする。

【授業の展開計画】

- 第1週 ジョン・ダンの詩の特徴とマニエリスムについて、特に鏡のイメージについて考察する。
- 第2週 同上。
- 第3週 フローベールの『感情教育』の小説手法の特徴と、フランスの二月革命について考察する。
- 第4週 ボードレールの『悪の華』に見られる美、醜、善、悪について考察する。
- 第5週 同上。
- 第6週 ロートレアモンの『マルドロールの唄』の抜粋を読み、その特徴について考察する。
- 第7週 同上。
- 第8週 エミール・ゾラと彼の正義感について考察する。
- 第9週 同上。
- 第10週 同上。
- 第11週 ランボアの生涯と『酔いどれ船』の意義について考察する。
- 第12週 同上。
- 第13週 同上。
- 第14週 ヴェルレーヌについて考察する。
- 第15週 前期のまとめ。
- 第16週 ネルヴァルの生涯について。
- 第17週 ネルヴァルの『シルヴィ』について考察する。
- 第18週 同上。
- 第19週 J.K.ユイスマンスの生涯について。
- 第20週 " : 『さかしま』について考察する。
- 第21週 " : その他の作品について考察する。
- 第22週 オスカー・ワイルドの生涯について。
- 第23週 " : 『ドリアン・ 그레이の肖像』について考察する。
- 第24週 ジョルジュ・バタイユのエロティシズムに関する哲学について考察する。
- 第25週 同上。
- 第26週 ジャン・コクトーの生涯と作品について考察する。
- 第27週 同上。
- 第28週 フランソワーズ・サガンの生涯と作品について考察する。
- 第29週 同上。
- 第30集 後期のまとめ。

【履修上の注意事項】

さまざま詩人や小説家を紹介するので、授業に出席することはもちろんだが、しっかりとノートを取り、何度もその意味について考察することが必要。その上で自分にとって世界観やものの考え方に対する新たな発見をして欲しい。

【評価方法】

前後期テスト60%、授業出席40%。

【テキスト】

特になし。適宜授業中にプリントを配布する。

【参考文献】

特にないが、授業で必要に応じて紹介する。

特講II 日本の美学を原典で読む

担当教員 小穴 晶子

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

原典資料を読みながら日本の美学について学ぶ。グローバル化の進む現代社会では自分の属する文化について確実な知識と見解を持ち、世界に向けて発信することが必要になってくる。日本の古典についてはこれまでも中学・高校の教科書などで学ぶ機会があったと思うが、その場合には教科書編纂者の意図による抜粋であって、最も興味深い点が抜けていたりする場合が多い。それゆえ、この授業では間接的な解説書ではなく原典資料を読みながら授業を進める。原則として講義のかたちで授業を行うが、希望があれば受講者の発表を組み込む。

【授業の展開計画】

日本の美学に関わる古典として、「万葉集」「古事記」「古来風体抄」「徒然草」「風姿花伝」「笈の小文」「奥の細道」「曽根崎心中」「難波土産」「茶の本」を取り上げそれぞれの著作の主として冒頭部分を中心に読み進め解説を加える。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	はじめに、授業の目的・進め方	16	風姿花伝（3）
2	万葉集（1）	17	風姿花伝（4）
3	万葉集（2）	18	風姿花伝（5）
4	万葉集（3）	19	笈の小文（芭蕉）
5	古事記（1）	20	奥の細道（芭蕉）
6	古事記（2）	21	曽根崎心中（近松）
7	古事記（3）	22	難波土産（穂積以貫）（1）
8	古来風体抄（藤原俊成）（1）	23	難波土産（2）
9	古来風体抄（2）	24	茶の本（岡倉天心）（1）
10	古来風体抄（3）	25	茶の本（2）
11	徒然草（1）	26	茶の本（3）
12	徒然草（2）	27	茶の本（4）
13	徒然草（3）	28	茶の本（5）
14	風姿花伝（1）	29	茶の本（6）
15	風姿花伝（2）	30	全体のまとめ

【履修上の注意事項】

自らの問題意識をもって学び、授業に積極的に参加すること。

【評価方法】

単位修得のためには出席日数（2/3以上）、前期1回・後期1回のレポート（各50点以上）が必要。

【テキスト】

授業時にプリントを配布

【参考文献】

授業中に指示する

特講III 絵画表現論

担当教員 中村 隆夫

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

絵画は1枚の平面にある秩序に基づいて並置された絵具の集積であると言ったのは、ナビ派の画家モーリス・ドニーズでした。しかし平面の奥に測り知れない深い意味が潜んでいるのも絵画だと言えます。この授業ではダ・ヴィンチ、ゴッホ、ゴッギャン、黒田清輝、藤田嗣治、アンリ・ルソー、ピカソ、シャガール、竹久夢二、佐伯祐三、関根正二らの代表作に込められた意味を、それぞれの画家の生涯の生涯と他の作品について言及しながら、その1点の作品の持つさまざまな意味について考察する。

【授業の展開計画】

- 第1、2週 絵画の背後に潜む意味とは何か、その深さとは何かについて語る。
- 第3、4週 ダ・ヴィンチの《モナ・リザ》に焦点を絞り、彼の幾つもの作品と生涯を鑑みながら考察する。
- 第5、6週 ゴッホの代表作《鳥の群れ飛ぶ麦畑》に焦点を絞り、彼の幾つもの作品と生涯を鑑みながら考察する。
- 第7、8週 ゴッギャンの代表作《我々は何処から来たのか、我々は何者か、我々は何処へ行くのか》に焦点を絞り、彼の幾つもの作品と生涯を鑑みながら考察していく。
- 第9、10週 黒田清輝の代表作《読書》に焦点を絞り、彼の幾つもの作品と生涯を鑑みながら考察していく。
- 第11、12週 藤田嗣治の代表作《自画像》（1921年）に焦点を絞り、彼の幾つもの作品と生涯を鑑みながら考察する。
- 第13、14週 藤田嗣治の代表作《カフェにて》に焦点を絞り、彼の幾つもの作品と生涯を鑑みながら考察していく。
- 第15週 前期のまとめ。
- 第16、17週 アンリ・ルソーの代表作《風景のなかの自画像》に焦点を絞り、彼の幾つもの作品と生涯を鑑みながら考察する。
- 第18、19週 ピカソの代表作《ラ・ヴィ》に焦点を絞り、彼の幾つもの作品と生涯を鑑みながら考察していく。
- 第20、21週 シャガールの代表作《時は岸辺のない河》に焦点を絞り、彼の幾つもの作品と生涯を鑑みながら考察する。
- 第22、23週 竹久夢二の《遠山に寄す》（1931年）に焦点を絞り、彼の幾つもの作品と生涯を鑑みながら考察する。
- 第24、25週 佐伯祐三の《広告貼り》（1927年）に焦点を絞り、彼の幾つもの作品と生涯を鑑みながら考察する。
- 第26、27週 関根正二の《信仰の悲しみ》（1918年）に焦点を絞り、彼の幾つもの作品と生涯を鑑みながら考察する。
- 第28、29週 モディリアニについて考察する。
- 第30週 後期のまとめ。

【履修上の注意事項】

画家の生涯、時代背景、幾つもの作品の意味との関連から講義を進めるので、内容をしっかりと理解し、ノートをきちんと取ることが大切である特定の作品を総合的に理解することが大切なので、授業に出席することはもちろんであるが、参考文献をはじめ資料を調べる自分で考えることが大切である。

【評価方法】

前後期テスト60%、授業出席40%。

【テキスト】

特にテキストは必要としない。自分の関心に依じて資料を読むことを勧める。

【参考文献】

『絵画の向こう側』 中村隆夫著（ラジオ番組「こころを読む」テキスト、NHK出版）

イスラム文化

担当教員 中村 寛

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

この講義では、「イスラム文化」の多様性を前提とした上で、ある特定の時間と場所でのイスラムの実践がどのようになされているのかを見ていきます。一見すると「自分」とは「異質」に見える信仰のあり方や、考え方、生き方に触れ、どのようにそれらを解釈することができるのか、そしてそのように解釈をしている「自分」の認識の枠組みとはどのようなものなのかを考えていくことができればと思います。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

- 1 イントロダクション：講義の進め方に関するオリエンテーション等
- 2 「イスラム」のイメージと実際：映像『ムスリムとの30日間』
- 3 「イスラム」のイメージと実際：イスラムの基本概念やコーラン等の紹介
- 4 「イスラム」のイメージと実際：イスラムの基本概念やコーラン等の紹介
- 5 イスラムの誕生：映画『ザ・メッセンジャー』
- 6 イスラムの誕生：映画『ザ・メッセンジャー』
- 7 イスラムの誕生：映画『ザ・メッセンジャー』
- 8 イスラムと西洋：映画『アラビアのロレンス』
- 9 イスラムと西洋：映画『アラビアのロレンス』
- 10 イスラムと西洋：スレイマン・ムーサ、『アラブが見たアラビアのロレンス』
- 11 「オリエンタリズム」という課題：イスラム報道のあり方
- 12 「オリエンタリズム」という課題：ヨーロッパのムスリムたちの生活
- 13 「オリエンタリズム」という課題：スカーフ事件と世俗主義
- 14 「オリエンタリズム」という課題：エドワード・サイード、『オリエンタリズム』
- 15 前期の総まとめ・総復習
- 16 アメリカとイスラム：映画『星の流れる果て』
- 17 アメリカとイスラム：映画『星の流れる果て』
- 18 アフリカ系アメリカ人とイスラム：映画『マルコムX』
- 19 アフリカ系アメリカ人とイスラム：映画『マルコムX』
- 20 アフリカ系アメリカ人とイスラム：イライジャ・ムハンマドとネイション・オブ・イスラム
- 21 アフリカ系アメリカ人によるイスラム運動：映画『ゲット・オン・ザ・バス』
- 22 アフリカ系アメリカ人によるイスラム運動：映画『ゲット・オン・ザ・バス』
- 23 アフリカ系アメリカ人によるイスラム運動：イスラム、ラップ音楽、和解
- 24 アメリカのムスリムたちの日常生活：シカゴ・サウスサイドでのフィールドワークから
- 25 アメリカのムスリムたちの日常生活：ニューヨーク・ハーレムでのフィールドワークから
- 26 アメリカのムスリムたちの日常生活：ニューヨーク・ハーレムでのフィールドワークから
- 27 日本のムスリムたち、世界のムスリムたち：ムスリムたちの多種多様な実践
- 28 日本のムスリムたち、世界のムスリムたち：映像『ドキュメント72時間 埼玉となりのイスラム教徒』
- 29 日本のムスリムたち、世界のムスリムたち：映像『リトル・バクダッド』
- 30 後期の総まとめ・総復習

【履修上の注意事項】

観た映像や講義の内容を踏まえて短いレビューをほぼ毎回書いてもらいます。提出してもらったレビューや、議論した際の貢献度等で、平常点をつけますので、出席が必須となります。様々な「問い」を自分のなかで立て、それを皆に向けて発せられるように心がけてください。なお、社会の状況や受講者の関心によって、内容が変更されることもあります。

【評価方法】

出席率やレビューの内容等の平常点が50パーセント。前期・後期の期末試験が各25パーセント。

【テキスト】

必要な文献・資料等はコピーして配布します。

【参考文献】

随時講義の中で紹介していきます。

ポートレート・イン・ジャズ

担当教員 中村 寛

配当年次 1～4年

単位区分 選択

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

この講義では、何人かのジャズ・ミュージシャンたちに焦点を当て、彼らの音楽に触れてもらいます。同時に、彼らの生い立ちや生活、音楽との出会い、独自のスタイルを築いていく過程等も見せていきます。音楽とその作り手の生に触れることを通じて、創作すること(creating)、アートすること(doing art)、練り上げること(elaborating)等の意味を考えてもらえればと思います。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

- 1 イントロダクション：講義の進め方に関するオリエンテーション等
- 2 ジャズの基本コンセプト：曲の解釈、コード進行、リズム等
- 3 ジャズの基本コンセプト：即興(improvisation)について
- 4 ジャズの基本コンセプト：ジャズとその他の音楽との差異と共通性
- 5 ジャズの誕生と展開：ルイ・アームストロング
- 6 ジャズの誕生と展開：デューク・エリントン
- 7 ビバップの誕生：チャーリー・パーカー
- 8 ビバップの誕生：ディジー・ガレスピー
- 9 ビバップとその周辺：セロニアス・モンク
- 10 ビバップとその周辺：バド・パウウェル
- 11 ビバップとその周辺：ウェス・モンゴメリー
- 12 ビバップとその周辺：マイルス・デイヴィス
- 13 ビバップとその周辺：ジョン・コルトレーン
- 14 ビバップとその周辺：ビル・エヴァンス
- 15 前期の総まとめ・総復習
- 16 ジャズとクラシック音楽：リズム・ビート・拍子
- 17 ジャズと吹奏楽：リズム・ビート・拍子
- 18 ビバップ以降：チック・コリア
- 19 ビバップ以降：キース・ジャレット
- 20 ビバップ以降：ハービー・ハンコック
- 21 フリー・ジャズ：オーネット・コールマン
- 22 フリー・ジャズ：山下洋輔
- 23 日本とジャズ：秋吉敏子
- 24 日本とジャズ：上原ひろみ
- 25 ジャズの現在：ウィントン・マルサリス
- 26 ジャズの現在：アビシャイ・コーエン
- 27 ジャズの現在：ミシェル・ペトルチアーニ
- 28 ジャズの現在：ヒップホップと即興詩ジャズの現在
- 29 ジャズの現在：将来を担うジャズ・ミュージシャンたち
- 30 後期の総まとめ・総復習

【履修上の注意事項】

出席が必須です。講義中に扱う音楽や映像に対する短いレビューを毎回書いてもらいます。上述の人たち以外にも複数のミュージシャンに言及することになります。また、現在活躍中のミュージシャンたちに教室に来てもらい話を聞くということも考えています。その際には、現在の授業計画を随時変更していきます。

【評価方法】

出席率やレビューの内容等の平常点が50パーセント。前期・後期の期末レポートが各25パーセント。

【テキスト】

必要な文献・資料はコピーして配布します。

【参考文献】

随時講義の中で紹介していきます。

古美術研修

担当教員 青木 淳

配当年次 1～4年

単位区分 選択

開講時期 集中

授業形態 演習

単位数 2.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

やはり芸術は本物を見て、触れてはじめて理解できることが少なくない。この研修では毎年、折々の特別公開の寺院や特別展などをめぐりながらわれわれの文化遺産としての芸術の歴史をたどってみたい。本年度は京都・奈良の古寺の仏像を中心に見学を行う。

【授業の展開計画】

ガイダンス：日時・教室については、造形表現学部事務部掲示板を確認してください。

日程：10月2日（日）・3日（月）・4日（火）（予定）

研修1～3 畿内の仏教文化

研修4～10 仏像と寺院建築の見学（各地の寺院での見学）

研修11～13 ディスカッション：現場に出てみて何を感じ、何を考えたのか

研修14～15 仏像の魅力

（見学予定地）

京都：三十三間堂、大報恩寺、智積院など

奈良：東大寺、浄瑠璃寺、円成寺など

*観られる限り見て歩きましょう。京都までは新幹線を利用し、研修中はバスを借上げます

【履修上の注意事項】

参加費用は個人負担：初日は東京駅集合。30～40名限定。希望者多数の場合は原則として抽選としますが、卒業の問題のある方などは相談に応じます。実習費は総額で2泊3日、食事、拝観料、保険などを合わせて7万円程度を予定しています。（5月中に詳しい案内を配布します。人数により変動します）特にお寺は信仰の場ですから、教員・副手の指示を守ってください。ラフな格好は禁止。実習費は6月30日（木）までに指定口座に振込みをしてください。（期日までに入金が確認できた学生だけが研修に参加できます）

【評価方法】

熱意、出席、レポート（総合評価100%）

【テキスト】

必要に応じて指示します

【参考文献】

必要に応じて指示。

移民とジェンダー

担当教員 進藤 幸代

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

19世紀前後半から20世紀前半にかけて、日本からハワイ、アメリカ、カナダ、ブラジル等に数十万もの労働者が海を渡った。移民の中には帰国する者もいた反面、多くは日本から妻を迎え、差別や迫害にあいながらも社会に溶け込もうとした。今日の日系人コミュニティの成功には多くの日本人女性の果たした役割が大きい。本講義では彼女達の結婚生活を考察し、コミュニティにおいてどのような役割を担っていたのかを具体的に学び、国外に目を向けることで、今日のグローバルな社会における日本人、日本社会とは何かを考える。

【授業の展開計画】

以下はあくまでも目安であり、進度や内容は学生の興味によって変化することがある。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス	16	戦争と日系人
2	出稼ぎ移民の歴史	17	戦争と日系人
3	出稼ぎ移民の歴史	18	「戦争花嫁」の出現
4	出稼ぎから定住へ	19	「戦争花嫁」の出現
5	出稼ぎから定住へ	20	「戦争花嫁」へのまなざし
6	「写真花嫁」の誕生	21	「戦争花嫁」へのまなざし
7	映画「ピクチャーブライド」（前）	22	日系研究におけるジェンダー
8	映画「ピクチャーブライド」（後）	23	日系研究におけるジェンダー
9	現地社会の日系人へのまなざし	24	今日の日系コミュニティと日系女性
10	現地社会の日系人へのまなざし	25	今日の日系コミュニティと日系女性
11	「写真花嫁」の記憶（映画）	26	日系人の考える日本女性像
12	女性のコミュニティにおける役割	27	日系人の考える日本女性像
13	日系コミュニティの確立へ	28	グループ プレゼン
14	日系コミュニティの確立へ	29	グループ プレゼン
15	外交文書に見る「写真花嫁」	30	まとめ

【履修上の注意事項】

講義形式であるが、映画や外交文書といったものを授業で取り入れる。授業中の入退室は他の学生の迷惑になるので、遅刻をしないこと。欠席回数が全体の1/3上回ると評価の対象外となるので注意すること。

【評価方法】

出席および授業参加度（40%）、学期末レポート（60%）

【テキスト】

必要に応じてプリント配布

【参考文献】

『写真花嫁・戦争花嫁のたどった道 - 女性移民史の発掘』（2009）島田法子（編） 明石書店

観光と文化

担当教員 進藤 幸代

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

観光は観光地の経済を活性化させるだけでなく、訪問先の文化を変容させ、その生活のあり方を変化させるなど、大きな影響力を持つ。観光の売られ方、観光客がホスト社会（観光客を受け入れる社会）に及ぼす問題、観光による文化の創造などを観光社会学・人類学の視点から分析し、文化の商品化、伝統の創造、オリエンタリズムなどというテーマの理解を深める。様々な視点から観光を考えることで、広い知識を身につける。

【授業の展開計画】

授業内容はあくまでも目安であり、学生の興味によって内容が前後することがある。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス	16	文化のブローカーとは誰なのか
2	観光パンフレットに見る観光イメージ	17	ホスト・ゲスト・文化のブローカー
3	観光とは何か	18	文化の客体化（変化するホスト）
4	旅からバックツアーへ（観光の歴史）	19	文化の客体化（変化するホスト）
5	旅からバックツアーへ（観光の歴史と形態）	20	持続可能な観光とは（エコツーリズム）
6	観光イメージの形成	21	持続可能な観光とは（エコツーリズム）
7	観光地の語られ方（南へのまなざし）	22	持続可能な観光を考える
8	伝統の創造と観光（パリ）	23	持続可能な観光を考える
9	伝統の創造と観光（ハワイ）	24	観光のキャッチコピーの分析
10	伝統の創造と観光（日本）	25	グループディスカッション
11	文化の商品化とは	26	新しい観光とは
12	ホストとゲスト（観光地にみる問題）	27	新しい観光とは
13	ホストとゲスト（観光地にみる問題）	28	観光プランを考える
14	ホストとゲスト（観光地にみる問題）	29	まとめ
15	グループディスカッション	30	まとめ

【履修上の注意事項】

観光に関する基礎知識は問わない。講義だけでなく、授業には映画やビデオ、雑誌や旅行パンフレットなどを使用する。授業中に学生に意見を求めたり、トピックについて考えてもらう参加型の授業を行いたい。出席を重視し、学期ごとにグループディスカッションを行うので遅刻をしないこと。欠席が全体の1/3を超えた場合は評価の対象外になるため、気をつけること。

【評価方法】

出席および授業への参加度（40%）、学期末のレポート（60%）で評価する。

【テキスト】

必要に応じてプリント配布

【参考文献】

『観光人類学』（1996）山下晋司（編） 新曜社

『ガイドブック的！観光社会学の歩き方』（2007）遠藤英樹 春風社

日本美術史

担当教員 島尾 新

配当年次 1～4年

単位区分 選択

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

準備事項

備考 「日本美術史」単位修得者（2006年以前）は履修不可

【授業のねらい】

日本美術史についての基礎知識を獲得すると同時に、その特質を理解しかつ歴史的過程の末尾にある現在を認識する。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内 容

- 1 ガイダンス
- 2 「日本美術」とはなにか？：日本とは何か？美術とは何か？
- 3 近代の節目：明治維新前後の日本美術
- 4 江戸時代（1）：18～19世紀の日本美術
- 5 江戸時代（2）：二つの流れ（1）- 狩野派
- 6 江戸時代（3）：二つの流れ（2）- 琳派など
- 7 縄文・弥生・古墳時代（1）：土偶
- 8 縄文・弥生・古墳時代（2）：土器・埴輪
- 9 縄文・弥生・古墳時代（3）：装飾古墳
- 10 飛鳥～奈良時代（1）：法隆寺
- 11 飛鳥～奈良時代（2）：薬師寺・東大寺
- 12 飛鳥～奈良時代（3）：興福寺・唐招提寺
- 13 平安時代（1）：東寺・平等院
- 14 平安時代（2）：書の変化・大和絵
- 15 平安時代（3）：信貴山縁起絵巻を見る
- 16 平安時代（4）：源氏物語絵巻を見る
- 17 鎌倉時代（1）：前代からの継承・南都復興（1）
- 18 鎌倉時代（2）：南都復興（2）・新仏教の美術
- 19 鎌倉時代（3）：絵巻・工芸
- 20 室町時代（1）：禅と水墨画
- 21 室町時代（2）：大和絵
- 22 室町時代（3）：仏教美術・工芸
- 23 桃山時代：大規模建築・障壁画
- 24 江戸時代（4）：再度、江戸時代へ
- 25 ジャンル別に見直す（1）：仏のイメージ
- 26 ジャンル別に見直す（2）：人のイメージ
- 27 ジャンル別に見直す（3）：花鳥のイメージ
- 28 ジャンル別に見直す（4）：建築・庭園のイメージ
- 29 日本美術の特質
- 30 まとめ

【履修上の注意事項】

作品をヴィジュアルに記憶することを重視するので、きちんと出席すること。

【評価方法】

学年末の試験と出席日数によって評価する。試験60% 出欠40%

【テキスト】

なし

【参考文献】

カラー版日本美術史 辻惟雄監修（美術出版社）、日本美術館（小学館）

日本美術史

担当教員 青木 淳

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

本年度は日本美術史に関わる作家、作品、時代などについて特にジャンルに関わらずゼミナール形式で行なう。縄文土器にみるエネルギーの集積と放散、仏教伝来以後の仏像史とその変革を担った作家たち、禅文化の展開などについて一緒に考えてみたい。また作品の背後にある作家像を掘り起こす機会になればと思う。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	講義：時代と造形の指向性	16	講義：浄土教美術1 平等院
2	講義：はじめのかたち1 原始時代	17	討論：浄土教美術2 来迎図
3	討論：はじめのかたち2 縄文時代	18	討論：浄土教美術3 地獄絵
4	討論：はじめのかたち3 弥生時代	19	講義：鎌倉時代における写実の系譜
5	討論：はじめのかたち4 古墳時代	20	討論：鎌倉時代の美術 運慶以前
6	講義：仏教伝来と偶像崇拜1 飛鳥時代1	21	討論：鎌倉時代の美術 運慶
7	討論：仏教伝来と偶像崇拜2 飛鳥時代2	22	討論：鎌倉時代の美術 快慶
8	討論：仏教伝来と偶像崇拜3 白鳳時代	23	講義：禅の美術
9	講義：大仏造立の世紀1 天平時代1	24	討論：庭の美
10	討論：大仏造立の世紀2 天平時代2	25	討論：禅画
11	討論：大仏造立の世紀3 天平時代3	26	討論：禅建築
12	講義：平安時代初期	27	講義：近世・近代の美術
13	討論：平安時代初期	28	討論：日本美術の特性
14	討論：平安時代初期	29	討論：日本美術の可能性
15	講義：地方仏	30	総括

【履修上の注意事項】

ゼミナール形式で行なう為、30名程度を上限とする。（卒業年次生などには配慮する）受講生は年一回以上、興味を持った作家、作品についてプレゼンテーションを行なうこと。発表にあたってはレジュメを作成すること。

【評価方法】

ディスカッション、発表（年1回以上）、出席 50%
レポート（後期） 50%

【テキスト】

必要に応じて指示する

【参考文献】

必要に応じて配布する。

西洋美術史

担当教員 松浦 弘明

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

備考 「西洋美術史」単位修得者（2005年以前）は履修不可

【授業のねらい】

西洋美術史の「核」であるルネサンスを学ぶ。

過去の画家たちがどのような事柄で悩み、それをどのように解決したかをわかりやすく解説していく。

制作にたずさわる学生諸君にとって、単なる教養ではなく、身近な問題に感じ取ってもらえるような授業内容にすることを心がけている。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス	16	ガイダンス
2	美術様式概論	17	盛期ルネサンスの幕開け
3	中世からルネサンスへの移行	18	レオナルド・ダ・ヴィンチの初期
4	13世紀フィレンツェ絵画	19	レオナルドの《岩窟の聖母》
5	ジョットとプロト・ルネサンス	20	レオナルドの《最後の晩餐》
6	ピエトロ・ロレンツェッティ	21	ボッティチェッリと新プラトン主義
7	アンブロジーヨ・ロレンツェッティ	22	ボッティチェッリとサヴォナローラ
8	シモーネ・マルティーニ	23	ラファエロの初期
9	14世紀後半	24	ラファエロのフィレンツェ時代
10	初期ルネサンスの幕開け	25	「署名の間」の装飾
11	マザッチョ	26	ラファエロの《アテネの学堂》
12	フラ・アンジェリコとフィリッポ・リッピ	27	ミケランジェロの初期
13	ウッチェッロとカスターニョ	28	システィーナ礼拝堂天井画
14	ピエロ・デッラ・フランチェスカ	29	レオナルドの晩年
15	まとめ	30	まとめ

【履修上の注意事項】

受け身ではなく、能動的な姿勢で授業にのぞんでほしい。

【評価方法】

出席(50%)および後期末の筆記試験(50%)。

前期末に実技課題を与える可能性もある。

【テキスト】

なし

【参考文献】

なし

西洋美術史

担当教員 中村 隆夫

配当年次 1～4年

単位区分 選択

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

バロックから20世紀初頭までの美術を概観します。単に画家の名前や作品を覚えるのではなく、時代精神をどのように反映しているのかを理解することが重要です。分りやすく解説しますので、西洋の美術の歴史をきちんと身につけて下さい。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

- 1 イタリア・マニエリスム：宗教改革、ローマ掠奪の影響と絵画について
- 2 17世紀イタリア美術：反宗教改革と絵画、建築、祝祭都市ローマについて
- 3 " :カラヴァッジオ、ベルニーニ、ボッロミーニ他
- 4 17世紀スペイン美術：スルバラン、リベラ、ベラスケス他
- 5 " : "
- 6 17世紀フランドル美術：宗教改革の影響と絵画について
- 7 " :ルーベンス、レンブラント、フェルメール他
- 8 17世紀フランス美術：ジョルジュ・ド・ラ・トゥール、クロード・ロラン、ニコラ・プッサン
- 9 18世紀フランス美術 - ロココ：ヴァトー、ブーシェ、フラゴナール他
- 10～11 新古典主義：ボンペイ、ヘルクラネウムの発掘、フランス革命と絵画について、ジャック＝ルイ・ダヴィッド、アングル他
- 12 フランス・ロマン主義：ジェリコー、ドラクロワ他
- 13 ドイツ・ロマン主義：フリードリヒ、ルンゲ他
- 14 イギリス・ロマン主義：ターナー、コンスタブルと近代風景画の展開
- 15 前期のまとめ。
- 16 写実主義：19世紀フランス社会の矛盾と絵画。
- 17 " : "
- 18 マネと印象派：マネ、モネ、ルノワール、ピサロ、ドガ、シスレー他。
- 19 " :印象派の特徴と絵画の革新について
- 20 新印象主義：印象派と比較して、その特徴を明らかにする。スーラ、シニャック
- 21 ゴッホ：ゴッホの生涯と絵画について
- 22 ゴーギャン：ゴーギャンの生涯と絵画について
- 23 ウィーン世紀末：クリムト、シーレ他
- 24 フォーヴィズム：ヴラマンク、ドラン、マティス等の絵画と色彩表現について
- 25 " : "
- 26 セザンヌについて考察する。
- 27 キュビズムについて考察する。
- 28 "
- 29 ドイツ表現主義：キルヒナー、ノルデ、カンディンスキー他
- 30 後期のまとめ。

【履修上の注意事項】

スライドを見て作品の特徴、様式を感覚的に理解することが大切です。

【評価方法】

前後期テスト60%、出席40%。

【テキスト】

特になし。

【参考文献】

「新西洋美術史」 千足信行 監修 （西村書店）

現代美術

担当教員 蔵屋 美香

配当年次 1～4年

単位区分 選択

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

私たちが美術作品に面してある感じを抱くとしたら、それはどんな色や形や素材の組み合わせによるのでしょうか。そうした組み合わせには、なんらかのルールがあるのでしょうか。この授業では、美術の歴史の流れを踏まえつつ、多方向から作品を読み解くレッスンを行います。絵画を中心に古典から今日の表現まで、旬の話題も盛り込んで、毎回具体的な作品を素材に、とりわけ創作する人にとって有意義な授業を目指します。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

- 1 作品を読む 画面を観察する：さまざまな方法論を用いた画面観察の技法をおさえる
- 2 作品を読む 構図と色彩：具体的な作品により構図と色彩の効果について考える
- 3 作品を読む 視線 - 誰が誰を見ているのか：画面の中の複数の視線のやりとりを読む
- 4 作品を読む 女性という主題：なぜ女性はいつも裸なのか？女性の表象を考える
- 5 作品を読む 時間という主題：静止した画面の中に時間の流れを表現する工夫とは？
- 6 作品を読む 隠された意味 愛：古典から現代に受け継がれる主題の意味を読み解く
- 7 作品を読む 隠された意味 夢：美術作品と夢の論理の共通性とは？
- 8 作品を読む 隠された意味 性：「ヴァギナ・デンタータ」等いくつかの主題を探る
- 9 作品を読む 隠された意味 死：「メメント・モリ」等いくつかの主題を探る
- 10 美術と社会 マーケットとアーティスト：アーティストはマーケットの論理にいかに対応すべきか
- 11 美術と社会 戦争画：もし戦争協力を要請されたら？アーティストの倫理とは
- 12 美術と社会 大量複製の時代：オリジナルを重視する美術にとって複製が持つ意味とは
- 13 美術と社会 展覧会をつくる：具体例を通して展覧会運営の実際を紹介する
- 14 前期のまとめ
- 15 美術と社会 アウトサイダー・アート：社会の規範からはずれた表現の世界
- 16 美術と社会 プリミティヴィズム：ピカソらが愛した「原始美術」とは？
- 17 今日の美術 遠近法を越えて：ルネサンスの遠近法と現代美術の関係を探る
- 18 今日の美術 00 - 10年代 遠近法とキュビズム：20世紀美術の幕開け、遠近法を越えるピカソの冒険
- 19 今日の美術 10 - 20年代 抽象の誕生：カンディンスキーとモンドリアンを中心に
- 20 今日の美術 10 - 20年代 タダイズム：便器にサイン？デュシャンを中心に
- 21 今日の美術 10 - 40年代 シュルレアリスム：夢と無意識の世界へのいざない
- 22 今日の美術 写真の衝撃：「あなたがここにいたらいいのに」・・・不在と写真の関係
- 23 今日の美術 50年代 抽象表現主義：戦後美術の出発点、ポロック、ロスコを中心に
- 24 今日の美術 60年代 ポップアート！：大量消費社会のクールなアート、ウォーホルを中心に
- 25 今日の美術 70年代 コンセプチュアル・アート：物質をこえて・・・コンセプトと行為のアート
- 26 今日の美術 80 - 90年代 空間とアート：ミニマリズムからインスタレーションへ
- 27 今日の美術 90年代以降 行為とプロジェクト：ハプニング、パフォーマンスからアートプロジェクトまで
- 28 今日の美術 90年代以降 アイデンティティを問う：性別・人種など表現者のアイデンティティを考える
- 29 今日の美術 90年代以降 絵画の現在：90年代の絵画復権以降、今日の絵画を中心に
- 30 全体のまとめ

【履修上の注意事項】

特になし

【評価方法】

1. 前・後期のレポート（各45点）
2. 出席率等学習意欲（10点）

【テキスト】

講義の流れにそって随時紹介する。

【参考文献】

講義の流れにそって随時紹介する。

絵画理論

担当教員 松浦 弘明

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

絵画であれデザインであれ映像・演劇であれ、美術を志す者は作品を通して他者とコミュニケーションをとろうとすることには変わりはない。その伝えようとするメッセージ自体があまりにも曖昧であれば、当然、作品の完成度はある水準でとどまってしまわずである。この講座の目的は、発表者の学生が自作品をあえて言葉にすることで、自身の考えを明確にすることにある。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス	16	ガイダンス
2	前期発表者の決定	17	学生プレゼンテーション
3	発表にあたっての注意	18	学生プレゼンテーション
4	自作品の基本理念についての議論	19	学生プレゼンテーション
5	学生プレゼンテーション	20	学生プレゼンテーション
6	学生プレゼンテーション	21	学生プレゼンテーション
7	学生プレゼンテーション	22	学生プレゼンテーション
8	学生プレゼンテーション	23	学生プレゼンテーション
9	学生プレゼンテーション	24	学生プレゼンテーション
10	学生プレゼンテーション	25	学生プレゼンテーション
11	学生プレゼンテーション	26	学生プレゼンテーション
12	学生プレゼンテーション	27	学生プレゼンテーション
13	学生プレゼンテーション	28	学生プレゼンテーション
14	学生プレゼンテーション	29	学生プレゼンテーション
15	前期の総括	30	総括

【履修上の注意事項】

本講座は履修学生の自主性を何よりも重んじる。積極的な姿勢で授業に臨むことにより、各自の制作活動に少なからぬ成果や刺激が得られるはずである。

【評価方法】

出席(40%)と発表の内容(25%)、および授業への参加姿勢(10%)を重視する。学年末に各自、自分の作品の「ポートフォリオ」(25%)を制作してもらう。

【テキスト】

なし

【参考文献】

なし

特講 芸術を語ることは

担当教員 青木 淳

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

ここでは、各自の芸術活動の意味するところについて語り合うことを主体にしている。多くの作家たちが、表現することの意味を問い、時代の感覚を表現することに夢中になっている。ここでは自身の仕事の意味について各方面で活躍するゲストとの対話を交えつつ考えてみたい。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

- 1 ガイダンス
- 2 芸術を語ることは：評論の意味
- 3 芸術という「仕事」
- 4 アーティストの仕事1：未定（画家）
- 5 ゲスト1：画家との対談
- 6 自作を語る1：学生によるプレゼンテーション
- 7 自作を語る2：学生によるプレゼンテーション
- 8 自作を語る3：学生によるプレゼンテーション
- 9 自作を語る4：学生によるプレゼンテーション
- 10 自作を語る5：学生によるプレゼンテーション
- 11 自作を語る6：学生によるプレゼンテーション
- 12 自作を語る7：学生によるプレゼンテーション
- 13 ゲスト2：学芸員（現代美術）との対談
- 14 自作を語る8：学生によるプレゼンテーション
- 15 自作を語る9：学生によるプレゼンテーション
- 16 自作を語る10：学生によるプレゼンテーション
- 17 自作を語る11：学生によるプレゼンテーション
- 18 自作を語る12：学生によるプレゼンテーション
- 19 自作を語る13：学生によるプレゼンテーション
- 20 自作を語る14：学生によるプレゼンテーション
- 21 ゲスト3：舞台関係者との対談
- 22 自作を語る15：学生によるプレゼンテーション
- 23 自作を語る16：学生によるプレゼンテーション
- 24 自作を語る17：学生によるプレゼンテーション
- 25 自作を語る18：学生によるプレゼンテーション
- 26 自作を語る19：学生によるプレゼンテーション
- 27 自作を語る20：学生によるプレゼンテーション
- 28 自作を語る21：学生によるプレゼンテーション
- 29 自作を語る22：学生によるプレゼンテーション
- 30 総括：芸術は何を表現してきたのか

【履修上の注意事項】

現在第一線で活躍しているアーティストをお招き、自らの仕事や過去・未来について語ってもらおうと考えている。また受講生自らが自作について、主観的に、時に客観的に語ってもらいたい。こうしたことをきっかけとして、学生諸君の今いる場所や未来について考えてみてもらいたい。（必ず一点以上自作について発表すること）

【評価方法】

ディスカッション、発表（年1回以上）、出席 50%
レポート（後期） 50%

【テキスト】

必要に応じて指示する

【参考文献】

必要に応じて指示する

色彩論

担当教員 日高 杏子

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

色彩は形と共に、造形表現に欠かせないものである。本講座では、美術・デザインのための色彩学の基礎および応用を幅広く学ぶ。色彩理論と知覚体験との融合によって、色彩を有効に活用できるようになることを目指す。前半では基礎として、眼や光のしくみ、伝統色、色名、色彩調和、表色系を修める。後半では応用として、まず色彩心理を概観した上で、過去の美術作品、カラーマネジメント、Web デザインという各分野の色彩計画に重点を置く。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

- 1 オリエンテーション：色彩論を学ぶ必要性・色を見るための三要素
- 2 眼：眼科学の歴史・眼のしくみ・色覚
- 3 光（1）：太陽光・自然光・スペクトル
- 4 光（2）：人工光・照明・光の単位
- 5 色の三属性（1）：明度分析演習
- 6 色の三属性（2）：色立体とPCCSトーン概念、顕色系
- 7 色の種類：原色・補色・色の見え
- 8 伝統色と色名：日本や西洋の伝統色・慣用色名と系統色名
- 9 染色と伝統色に関するビデオ鑑賞：日本の伝統色について
- 10 数値混色系：オストワルト、DIN、XYZ 表色系
- 11 色材・顔料（1）：チェンニーニ「絵画術の書」に基づく顔料の解説
- 12 色材・顔料（2）：DVD鑑賞
- 13 絵画・版画・装飾美術の色彩：西洋美術と色彩の関連性・デザインと工業生産について
- 14 紋章と色彩：色彩調和論の成り立ち、配色理論について
- 15 色彩に関する論争：ニュートン対ゲーテ、他の色彩学者の理論
- 16 色彩と文化：色彩と文化・歴史との関わり
- 17 色彩と心理（1）：象徴・嗜好色・地域性・流行色・CI
- 18 色彩と心理（2）：色彩感情と表現・発達心理学
- 19 色彩と心理（3）：カラーコーディネーション・セラピー
- 20 色彩と心理（4）：錯視・対比同化現象・オブアート
- 21 色彩と心理（5）：色彩とコミュニケーション・安全色
- 22 色彩と心理（6）：DVD鑑賞
- 23 色彩の活用（1）写真技術・測色：カメラオブスクーラ・写真・アナグリフ・分光測色
- 24 色彩の活用（2）版画と印刷、インク：印刷方法とプリンターのしくみ
- 25 色彩の活用（3）カラーマネジメント：DTPにおける色管理について
- 26 色彩の活用（4）ウェブデザイン：デジタルの色彩、HEX 色表示のしくみ、デジタルアーカイブ
- 27 色彩の活用（5）ファッションの色彩
- 28 色彩の活用（6）環境色彩：ディスプレイデザイン・環境デザインの色彩
- 29 色彩の活用（7）モダニズムと色彩
- 30 学年末試験（授業内）：一年間で学んだ範囲から出題

【履修上の注意事項】

常に、自分の作品制作と深く関わる色彩に対して問題意識を持ち、意欲的な授業参加が望まれる。

【評価方法】

1. 平常点：全講義日数の70%以上の出席（40点）
2. 課題提出物（30点）
3. 学年末試験（30点）

上記項目を必須条件、合計100点として、総合判定する。

【テキスト】

「色彩の表記」アルバート・H・マンセル 著 日高杏子 訳 みすず書房

【参考文献】

色彩論の各分野に関する参考文献リストを配布

デザイン基礎論

担当教員 小笠原 登志子

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

デザインを広義にとらえれば、人間の生活と社会を形づくる思考・行動に不可欠な「計画」そのものと考えることができる。したがってデザインの基礎は人間に関わるさまざまな分野の研究成果に支えられている。ここでは基礎造形の原理となる形態研究の方法、人間の視知覚のしくみと特性、認知の型としてのイメージの多様性とコミュニケーションについて、具体的な事例に則しながら考察する。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	授業の概要説明 スケジュールの確認	16	眼の構造 両眼視のステレオスコープ機能
2	動物の巣に見る生存のための問題解決法	17	遠近感の手がかり
3	植物の種にひそむ繁殖のための戦略	18	〃
4	成長する形・螺旋	19	運動視差 J.J.Gibsonとアフォーダンス
5	成長する形・分岐	20	運動錯視 アニメーションの原理
6	自然界に見られるパターン形成の科学	21	視知覚の特性を生かした映像
7	2次元シンメトリー	22	視知覚の特性を生かした造形
8	3次元シンメトリー	23	イメージとコミュニケーション
9	多角形・多面体の不思議と魔術性	24	見立て・かたちの発見
10	黄金比と白銀比	25	生活圏から宇宙観へ
11	モデュロール プロポーション	26	地図にあらわれる世界像
12	知覚と認知 物体と空間の区別	27	イメージマップ
13	ゲシュタルト要因	28	人と人の距離には意味がある
14	関係枠と方向の定位	29	非視覚的対象を視覚化する地図
15	視知覚のしくみを逆にとる	30	〃

【履修上の注意事項】

資料プリントは受講人数分だけ用意するので、なくしたり忘れてたりしないように注意すること。

【評価方法】

1. 前期レポート・後期レポートの着眼点・論理性・表示上の工夫を評価：各45点
2. 出席率 10点

【テキスト】

資料プリントを配布する。

【参考文献】

資料プリントに表記する。

コンピュータ基礎論

担当教員 操上 勝司 海津 ヨシノリ

配当年次 1～4年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 講義

単位数 2.0

準備事項

備考 定員80名 抽選により履修者を決定（詳細は新年度ガイダンスにて確認すること）

【授業のねらい】

デジタル技術により進化したデザイン表現のために必要なコンピュータの基礎的な知識として、データ作成から出力までの操作の基本を実際にコンピュータを操作しながら学びます。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内 容

- 1 コンピュータの歴史と基礎（1）：コンピュータのハードウェアとオペレーティング・システム
- 2 コンピュータの歴史と基礎（2）：デスクトップ環境と基本操作および各種文字入力
- 3 アプリケーションの操作：グラフィックソフトの種類（Photoshop、Illustratorの基礎）
- 4 コンピュータでの色操作：カラーモデル（RGB / CMYK / HSB）の概念
- 5 コンピュータでの文字操作：様々なフォントの概念と仕組み
- 6 写真画像のレタッチ（1）：Photoshopの操作（レベル補正 / 選択範囲 / レイヤー）
- 7 写真画像のレタッチ（2）：Photoshopの操作（パターン生成 / レタッチ処理 / 画像合成）
- 8 ドローイング：Illustratorの操作（ベジェ曲線 / ペンツール / タイプツール）
- 9 日本語組版：日本語組版の基礎（字間、行間 / 行揃え / 禁則処理）
- 10 印刷：画像解像度、プロセスカラー、網点と線数
- 11 データフォーマット：コンピュータにおけるデータフォーマットの種類
- 12 ページレイアウトの基本：InDesignの操作（マスタページの概念、レイアウト手法、PDF書き出し）
- 13 3次元ソフト：3Dアプリケーションの概念と基礎
- 14 動画と音声：コンピュータ動画の概念と基礎
- 15 コンピュータネットワーク：ネットワークにおけるハードウェアの概念と基礎

【履修上の注意事項】

定員80名。造形学科と映像演劇学科の全学年、デザイン学科の3年生以上を対象としています。定員を超える履修希望者がある場合は、造形学科と映像演劇学科の学生、デザイン学科上級生が優先されます。なお、造形学科、映像演劇学科の学生だけで定員を超えてしまう場合は上級生が優先されます。コンピュータを所有している人、あるいは購入を考えている人に限定します。

【評価方法】

出席日数（3分の2以上）50点、筆記試験：50点

【テキスト】

プリントを配布します。

【参考文献】

授業中に参考文献または関連サイトを紹介します。

ネットワーク基礎論

担当教員 操上 勝司 海津 ヨシノリ

配当年次 1～4年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 講義

単位数 2.0

準備事項

備考 定員80名 抽選により履修者を決定（詳細は新年度ガイダンスにて確認すること）

【授業のねらい】

電子映像メディアとしてのネットワークがもたらした、人と情報の新しい関係への理解と基礎的な知識を習得し、インターネットアクセスの基本操作やhtml等について実際にコンピュータを操作しながら学びます。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内 容

- 1 コンピュータネットワークの概念：LAN（ローカルエリアネットワーク）の概要
- 2 インターネット：インターネットの仕組みと歴史
- 3 ウェブサイト、ブラウザ：ウェブサイトの分類と種類、ウェブブラウザの歴史
- 4 HTMLの基礎（1）：タグの概念、構造及び基礎的な学習、テキストエディタによるHTML作成
- 5 インターネットにおける画像（1）：PhotoshopによるGIFの基礎、JPEGの基礎、PNGの基礎
- 6 インターネットにおける画像（2）：GIFアニメーションの基礎、バナー広告の作成
- 7 HTMLの基礎（2）：ハイパーリンクの概念、ファイル構造、カスケード・スタイルシート
- 8 HTMLの基礎（3）：Dreamweaverの使い方
- 9 プレゼンテーションへの応用：InDesignによるプレゼンテーション及びSWFファイル作成
- 10 ウェブテクノロジー（1）：プラグイン、Flashの使い方
- 11 ウェブテクノロジー（2）：Flashアニメーションの基礎、Illustratorとの連動
- 12 ウェブテクノロジー（3）：ストリーミング及びJAVAの概念
- 13 インターネットにおける問題点とマナー：スパム、ウィルス、セキュリティー、ネチケット
- 14 インターネットビジネス：ビジネスモデル（バナー広告/EC/マーケティング）
- 15 コンピュータネットワーク、その現状と未来：ウェブサイトの構成とインターフェイス、接続環境と携帯デバイス

【履修上の注意事項】

定員80名。造形学科と映像演劇学科の全学年、デザイン学科の3年生以上を対象としています。定員を超える履修希望者がある場合は、造形学科と映像演劇学科の学生、デザイン学科上級生が優先されます。なお、造形学科、映像演劇学科の学生だけで定員を超えてしまう場合は上級生が優先されます。前期「コンピュータ基礎論」の受講者または、コンピュータの基本的操作（ワープロソフトなどをつかえる等）を習得している学生に限定します。

【評価方法】

出席日数（3分の2以上）50点、課題レポート：50点

【テキスト】

プリントを配布します。

【参考文献】

授業中に参考文献または関連サイトを紹介します。

コンピュータ画像処理論

担当教員 海津 ヨシノリ

配当年次 1～4年

単位区分 選択

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

Photoshop、Illustratorを中心に、3D画像やMotionグラフィックス等にも触れ、単なるソフトウェアの使い方ではなく、コンピュータグラフィックスにおける様々な画像処理、画像合成の実例を示し、その構成や作り込みへの考え方、あるいは理解を深め、ジャンルに拘らず、全ての創作活動における新しい表現方法の1つとして、コンピュータ画像処理の可能性や、創作活動のヒントを探ってみます。また、様々な映像作品の紹介も予定しています。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

- 1 デジタル表現とアナログ表現の視点を考える：自由と不自由の間。制約から生まれる技法と表現
- 2 デジタル特有のルール：タブレット、仮想記憶、カラーマネージメント等の環境設定を理解
- 3 正しい間違った使い方と間違った教科書的使用方：マニュアルに依存しない関わり方と疑問を持つ姿勢
- 4 カラーリング（アナログ表現には無かった約束事）：オリジナルカラーパレットの作成方法と環境整備
- 5 色々なグラフィックツール：定番以外のグラフィックツールの紹介と可能性
- 6 イレギュラー処理と偶発性の関係1：パターン、テクスチャー、スタイル、ブラシ生成とイレギュラー処理の関係
- 7 イレギュラー処理と偶発性の関係2：生成とイレギュラー処理の関係
- 8 イレギュラー処理と偶発性の関係3：素材としての写真と、パーツとしての写真利用
- 9 レイヤーと描画モード1：描画モードとレイヤー操作によるカラーリング調整の合理性
- 10 カラーユニバーサルデザイン：見えていることと、見えていないことの境目
- 11 デジタルデッサン：デジタルデッサン力はコンピュータを必要としない（形を見抜く観察力）
- 12 デザインイラスト：デザインイラスト的発想訓練（視点をずらす訓練の重要性）
- 13 3Dグラフィックの活用：見えていることと見えていないことの把握と、その活用方法
- 14 フィルタ（使い方の善し悪しと応用力の養成）：フィルター処理の組合せとパラメーターに疑いを持つ
- 15 技法とプリントアウトの可能性1：様々な絵画的描画技法にみるデジタル的発想の理解
- 16 技法とプリントアウトの可能性2：アナログ的表現の作り込みと特殊用紙による表現力
- 17 技法とプリントアウトの可能性3：デジタル版画としてのオンデマンド印刷による作品
- 18 基本機能だけで作り込む映像：Illustrator、Photoshop、InDesignによる映像生成
- 19 データ構造とバリエーション1：データ構造の理解とバリエーションによる静止画とアニメーション制作
- 20 デジタルライブペイント：希望者を募り、予備知識無しのデジタルライブペイントの可能性を探る
- 21 製図的技法、平行透視図法：製図的技法とデジタル表現で効果的な平行透視図法
- 22 コラージュとフォトイメージング：画像合成におけるコラージュとフォトイメージングの考え方
- 23 変則マスキングと複合マスキング：変則マスキングと複合マスキング及び、それぞれの使い分けと可能性
- 24 レタッチとエフェクト処理の誇張と演出1：主従関係とコントラスト、ネガポジと補色の関係及び可能性
- 25 レタッチとエフェクト処理の誇張と演出2：レタッチとエフェクト処理にみる誇張と演出の違い
- 26 レタッチとエフェクト処理の誇張と演出3：ツールの組み合わせによる様々な補正方法
- 27 3Dグラフィックの応用1：様々なモデリング手法によるオブジェクト生成
- 28 3Dグラフィックの応用2：テクスチャーとデカル、パンプ、奥行きとライティングによる作り込み
- 29 アニメーション：静止画で作るGIF、Flashアニメーション、モーショングラフィックスの世界
- 30 コンピュータ画像処理の可能性：既存概念からの脱却と新しい画材としてのコンピュータグラフィック

【履修上の注意事項】

コンピュータ所有の有無に拘わらず、コンピュータにおける様々な画像処理表現の可能性を意欲的に吸収したい学生を歓迎します。特にコンピュータを所有している必要はありません。Macintoshばかりでなく、Windows環境にも触れる予定です。

教室内へのノートパソコンの持ち込みを許可しますが、授業中に個別の対応はしません。

【評価方法】

出席日数（3分の2以上）40点、前期筆記試験：30点、後期レポート：30点

【テキスト】

プリントを配布します。

【参考文献】

授業中に参考文献または関連サイトを紹介します。

視覚伝達論

担当教員 金 度亨

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

視覚伝達の基本的な考え方を理解し、必要不可欠な基礎知識を身につけるため、まずあらゆる造形世界での基礎的で重要な問題を関連理論に焦点を当て、様々な作品等の事例をあげながら、考察する。また、どのように必要に応じた媒体や表現手法を使ってメッセージを視覚的に伝達しているかを考える。

【授業の展開計画】

- 1 ガイダンス 1：授業内容とスケジュール確認
- 2 視覚伝達とは
- 3 形態の知覚と心理：図と地
- 4 視知覚と心理
- 5 群化と形態
- 6 色の感じ方
- 7 色の感じ方
- 8～14 テクスチャ
プロポーション
リズム、ハーモニー
配置
ユニット
分割
その他の表現
- 15 まとめ
- 16 ガイダンス 2
- 17 視覚の原理
- 18 視覚の原理
- 19 視覚デザインの歴史
- 20 生活の中の視覚伝達
- 21～28 各種視覚媒体の紹介
- 29 関連事例研究
- 30 まとめ

【履修上の注意事項】

基本的には講義形式で進めるが、講義時間中にテーマに関連する簡単な実験等を行うこともある。なお、必要に応じて映像資料を用いることもある。

【評価方法】

- 1 出席状況（40点）
- 2 前・後期レポート（各30点）

【テキスト】

資料プリントを配布する。

【参考文献】

資料プリントに表記する。

空間演出論

担当教員 福島 勝則

配当年次 1～4年

単位区分 選択

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

20世紀初頭に注目したい。空間への意識変革と演出という表現系の出現はこの頃から始まるからだ。絵画における表現革新のみならず、新たに身体表現と映像表現とが加わり、ヨーロッパがアジアと遭遇して驚愕したのもこの時期である。そのキーワードが空間、演出、身体であり、また同時に芸術表現の総合化と国際化と大衆化とであろう。そのいくつかの事例を多数の映像資料によって検証しつつ、今日の表現文化の基層を探りたい。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

- 1 ガイダンス：授業内容と目的
- 2 (1)表現におけるヨーロッパとアジア
- 3 ワグナーの<未来の芸術作品> = 表現における総合
- 4 超大作音楽劇『ニーベルングの指輪』四部作をたのしむ(1)
- 5 『ニーベルングの指輪』四部作をたのしむ(2)
- 6 『ニーベルングの指輪』四部作をたのしむ(3)
- 7 ワグナー総合芸術論 = その音楽劇理想と演出意識の誕生
- 8 驚愕のアジア = アルトールを知っていますか
- 9 アルトールが遭遇したバリ島の祭儀舞踊 ヨーロッパを越えて
- 10 花子と貞奴 ジャポニズムとは
- 11 感性の変革 = 内なるものと外なるもの
- 12 フロイトの深層心理学と表現革命 / 無意識の発見
- 13 果てしなき想像力 / ジュヌ・ヴェルヌのSF小説
- 14 コルビュジエとタルトの建築空間 / 空間感覚の新時代
- 15 討論とまとめ
- 16 (2)様々な表現スタイル
- 17 身体の解放 = 表現する身体
- 18 ニーチェの身体哲学とダンカンの自由舞踊
- 19 未来派の文化革新 / 機械の美を謳う = スピードと喧噪とスキャンダル
- 20 ロシアバレエ団の身体 / ディアギレフの理念 = 美術と音楽と舞踊の総合
- 21 「牧師の午後」 / 「ペトルーシュカ」 / 「春の祭典」
- 22 演出家の時代 = 演出力が時代を拓く
- 23 ドイツ表現主義映画と舞踊 / 戦争の恐怖と惨禍 = 歪む表現 + 震える身体
- 24 無声映画の演出 = 『カリガリ博士』と『メトロポリス』
- 25 幻想と幻影と悪夢 / シュルレアリスムとは何か
- 26 ロシア革命と構成主義 / プロパガンダの方法
- 27 革命映画の演出力 = 『ストライキ』
- 28 抽象表現主義とバウハウス / 工業生産時代の美と機能
- 29 バウハウスの理念 / すべては建築に総合される
- 30 まとめ / 20世紀をどう考えるか

【履修上の注意事項】

映像資料を多用するのでこれらをしっかり見てほしい。出席を重視。途中の入退室は厳禁。

【評価方法】

前後期それぞれレポート(2000字)

出席数40点 + レポート点(前期30点 + 後期30点) = 計100点

【テキスト】

なし。授業中に多数の資料コピーを配布する。

【参考文献】

授業中に指示。

上演芸術史

担当教員 土屋 康範

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

我々が自ら戯曲を創作したり上演したりする際には、「演技をどのように創造すべきか」、「劇世界の時間の流れや空間の設定をどのように扱うべきか」といった問題と向き合うことになる。この講義では、その取り組みに資するよう、戯曲をしっかりと読み込むと共にそれらの戯曲作品がいかに演じられてきたのかを考察する。特に西洋の劇的な演劇の伝統とその系譜について歴史的に展望していきたいと思う。

【授業の展開計画】

- 週 授業項目：内 容
- 1 ガイダンス：講義内容・成績評価方法の説明等
 - 2 【古代ギリシア・ローマ演劇】 第1回レポート課題 ギリシア悲劇を読んで批評する。
 - 3 上演の形態：劇場構造、舞台機構、演技のスタイルなど
 - 4 三大悲劇詩人とその作品：アイスキュロス、正義（テミス、ディケ）の概念
 - 5 : ソポクレス
 - 6 : ソポクレス
 - 7 : エウリピデス デウス・エクス・マキナ（機械仕掛けの神）
 - 8 : エウリピデス
 - 9 : アリストテレス『詩学』のドラマトゥルギー
 - 10 喜劇詩人とその作品：アリストパネス、メナンドロスの新喜劇と古代ローマ喜劇
 - 11 【エリザベス朝演劇】 第2回レポート課題 シェイクスピアの戯曲を読んで批評する。
 - 12 上演形態：劇場構造、舞台機構、演技のスタイルなど
 - 13 シェイクスピアの史劇：薔薇戦争と英国史劇
 - 14 『リチャード三世』
 - 15 シェイクスピアの喜劇：新喜劇の系譜 『十二夜』
 - 16 : 牧歌劇の伝統 『お気に召すまま』
 - 17 : ロマンズ劇 『冬物語』、『テンペスト』
 - 18 シェイクスピアの悲劇：四大悲劇（1）『ハムレット』
 - 19 : 四大悲劇（2）『リア王』、『オセロー』
 - 20 : 四大悲劇（3）『マクベス』
 - 21 【フランス古典劇】 第3回レポート課題 モリエールの戯曲を読んで批評する。
 - 22 上演形態：劇場構造、舞台機構、演技のスタイルなど
 - 23 コメディ・デラルテ：台本、仮面と衣裳、演技のスタイル、舞台機構
 - 24 : 18世紀、ゴルドーニの改革とその作品
 - 25 三大劇作家とその作品：コルネイユと三一致の法則 『ル・シッド』、『ポリュクト』
 - 26 : モリエールとコメディ・デラルテ 『スカパンの悪たくみ』
 - 27 : モリエールの喜劇 『タルチュフ』、『ドン・ジュアン』
 - 28 : モリエールの喜劇 『人間ざらい』
 - 29 : ラシーヌの情念の悲劇 『フェードル』を中心に
 - 30 まとめ 劇的な演劇の伝統とは
上演映像などの視聴覚教材を積極的に用いた講義となる。

【履修上の注意事項】

具体的に取り上げる戯曲は丹念に読み込み、自分なりの発見や疑問を持って参加すること。また興味を覚えた作品には積極的に触れて欲しい。とにかく自分から行動を起こさないと何も生まれない。

【評価方法】

3つのレポート課題の評点（15点満点×3回）と出席点（55点×出席日数/授業日数）を考慮して行う。

【テキスト】

3つのレポート課題の戯曲（文庫版）。随時、教材のプリントを配布する。併せて、必読戯曲の一覧も手交する。

【参考文献】

丹下和彦『ギリシア悲劇ノート』（白水社、2009年）、河合祥一郎・小林章夫共編、『シェイクスピア・ハンドブック』（三省堂、2010年）、アントワーン・アダン『フランス古典劇』（文庫クセジュ、1997年）

写真表現史

担当教員 大日方 欣一

配当年次 1～4年

単位区分 選択

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

写真というメディアが発明されてから今日までの、写真を使ったさまざまな人間の行為、表現のすがたを眺め、その内実を吟味・考察する。本年度は、歴史上の重要な写真作品を毎回一作ずつ取り上げ、その作品が産み出された社会的背景や同時代のメディアやアートの動きにも目を配りつつ、画面に見えるものを分析していく。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内 容

- 1 Gustav Oehme 《三人の少女》1840s
- 2 William Henry Fox Talbot 《開いた扉》1840s
- 3 Gustave Le Gray 《海景》1850s
- 4 Timothy H O'Sullivan 《死の収穫》1860s
- 5 浅草・江崎写真館《赤ん坊1700人のコラージュ》1880s
- 6 Peter Henry Emerson 《丸網を仕掛ける》1880s
- 7 Jacob Riis 《無法者のねぐら》1880s
- 8 Holland Day 《十字架上のキリストと二人のローマ兵》1890s
- 9 Eugène Atget 《手回しオルガン弾き》1890s
- 10 Frank and Lillian Gilbreth 《動作研究》1910s
- 11 Alfred Stieglitz 《泉》1910s
- 12 Andre Kertesz 《モンドリアン宅にて》1920s
- 13 熊谷孝太郎 《十字街》1920s
- 14 Man Ray 《ヴェールをつけたエロティック》1930s
- 15 安井仲治 《蝶》1930s
- 16 August Sander 《画家ペーター・アーベレンの妻》1920s
- 17 Gregory Bateson 《バリ島人の性格》1930s
- 18 Henri Cartier-Bresson 《バルセロナ》1930s
- 19 Walker Evans 《サブウェイ・ポートレイツ》1940s
- 20 Alexey Brodovitch 《バレエ》1940s
- 21 大辻清司 《無言歌》1950s
- 22 石元泰博 《ハロウィン》1950s
- 23 Robert Frank 《エレベーター、マイアミ・ビーチ》1950s
- 24 北代省三 《極微の迷路》1960s
- 25 Roy DeCarava 《私の見た音》1960s
- 26 Robert Adams 《野外劇場とシャイエン山》1960s
- 27 榎倉康二 《予兆》1970s
- 28 牛腸茂雄 《Self and Others》1970s
- 29 Tierney Gearon 《Explosure》2000s
- 30 まとめ

【履修上の注意事項】

スライドや映像鑑賞をまじえて授業をすすめるので、教室前方のスクリーンを見やすい位置に着席するよう心がけて下さい。講義中、教室からの途中退回は厳に慎むこと。

【評価方法】

レポート課題（3回）60点 出席平常点40点

【テキスト】

なし

【参考文献】

「大辻清司の写真 - 出会いとコラボレーション」 大日方欣一、光田由里 編 （フィルムアート社）
「アメリカ写真を読む」 アラン・トラクテンバーグ （白水社）

映像表現史

担当教員 大久保 賢一

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

【授業のねらい】

この授業ではできるだけ多くのモノクロ/サイレントの映画を見る。そうすることで、19世紀末から1930年代までの間に映画がどのように発展したかを見ていく。モノクローム（白黒）、音のない映画のこの時代に、映画は実に相当のパワフルだった。では、フィルムに音がつき、色がついて映画はその力に何を加えたか。授業では近年の作品も組み合わせ、映画の力について考え、映画がその時代の政治と人間の意識にどう関わったかを見ていく。以下の展開計画に挙げる項目は、現実の状況に応じて順序等シャッフルすることもあり得る。

【授業の展開計画】

- | | | |
|----|-----------------|--------------------------|
| 1 | イントロダクション | まず「1カットの映画」から |
| 2 | リュミエール兄弟 | 映画と列車の相思相愛 |
| 3 | トーマス・エジソン | 発明王の映画 |
| 4 | アリス・ギィ | 映画史最初の監督は女だった |
| 5 | ジョルジュ・メリエス1 | ファンタジーの創始者はニュースの創始者でもあった |
| 6 | E・S・ポーター | 大作「大列車強盗」のリアル |
| 7 | ウィンザー・マッケイ | アニメーションの最初のスター |
| 8 | ジョルジュ・メリエス2 | ホラー映画は映画史の最初から |
| 9 | バスター・キートン | 世界共通語としてのドタバタ喜劇 |
| 10 | 世界から風景を収集する | 観光と映画 |
| 11 | 黒い森の感性 | ドイツ映画創世記 |
| 12 | 産業の外側で1 | ヨーロッパ・アヴァンギャルド |
| 13 | 産業の外側で2 | マン・レイとパリ |
| 14 | 日本のアヴァンギャルド | 衣笠貞之助「狂った一頁」 |
| 15 | 日本人のハリウッド | 早川雪洲と上山草人 |
| 16 | セルゲイ・エイゼンシュテイン1 | 編集というスリル |
| 17 | セルゲイ・エイゼンシュテイン2 | 空間と色の編集 |
| 18 | カラーかトーキーか1 | 歌う声がフィルムから |
| 19 | カラーかトーキーか2 | テクニカラー・マジック |
| 20 | ドキュメンタリー1 | 何に対抗して？あらためてリアルとは？ |
| 21 | ドキュメンタリー2 | 戦争と国家と宣伝と |
| 22 | シュルレアリズム1 | カウンター・カルチャーの発火点 |
| 23 | シュルレアリズム2 | 徹底してリアルなもの |
| 24 | デジタルとアナログフィルムと | 映画の色と音 |
| 25 | 都市と身体 | ニューヨーク摩天楼と廃墟と映像と |
| 26 | ジェンダー | 映画史と男と女 |
| 27 | テラ・インコグニタ | ヨーロッパにとってアジアとは何か |
| 28 | アジア映画の現在 | 映画祭に見るその興隆と交流 |
| 29 | 日本映画の現在 | 外部へ、そして歴史へ |
| 30 | 映画の実験 | アンダーグラウンド・シネマ、アメリカと日本 |

【履修上の注意事項】

授業時間の制限があり、長篇をまるごと見ることはなかなかできない。ビデオテープやDVD、ブルーレイなどで短篇作品や長篇の部分を見る。授業の冒頭で、いま劇場で見られる映画を紹介する。町へ出て、古今東西の映画をできるだけ多く見てほしい。表現のメディアが何であれ、作品を生み出すことは多くを見ることなしにはあり得ないからだ。

【評価方法】

出席状況 30% 前期レポート 40% 後期レポート 30% とします。（課題内容はそのつど説明、掲示する）

【テキスト】

なし。授業中に配布するプリント。

【参考文献】

授業中に随時紹介する。

劇場文化論

担当教員 土屋 康範

配当年次 1～4年

単位区分 選択

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

準備事項

備考 「劇場文化史」単位修得者（2007年以前）履修不可

【授業のねらい】

舞台芸術におけるドラマの表現の探求。「劇的なもの」がいかに総合芸術として表現されるのか、歌劇としてのオペラ、舞踊劇としてのバレエにおいて歴史的に考察していきたいと思う。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内 容

1 ガイダンス：講義内容・成績評価方法の説明等

2 【オペラにおけるドラマの表現】

3 オペラの誕生とバロック・オペラ：モンテヴェルディとその作品

4 : ナポリ派のオペラとカストラートの活躍、ヘンデルのオペラ

5 18世紀後半のオペラ：グルックのオペラ改革

6 : モーツァルトとドイツ国民オペラの萌芽

7 : 鑑賞レポート

8 : モーツァルトのオペラを鑑賞して批評する。

9 : モーツァルトの後継者ロッシーニ

10 19世紀前半、ロマン派の美学とオペラ：ドニゼッティ、ベッリーニ、オペラにおける「狂乱の場」

11 19世紀後半のオペラ改革：イタリア・オペラの伝統とヴェルディの変革

12 : ヴェルディの変革

13 : 鑑賞レポート

14 : ヴェルディのオペラを鑑賞して批評する。

15 : プッチーニの実験

16 : プッチーニとヴェリズモ・オペラ

17 : オペラの革命児ワーグナー

18 : 鑑賞レポート

19 : ワグナーのオペラを鑑賞して批評する。

20 世紀末のオペラ：R.シュトラウスとその作品

21 【バレエにおけるドラマの表現】

22 バレエの誕生：宮廷バレエ、5つのポジションの確立

23 ロマンティック・バレエ：ポワント技法の確立、バレエ・ブランの世界

24 : 鑑賞レポート

25 : 『ジゼル』を鑑賞して批評する。

26 ロシアのクラシック・バレエの発展：マリウス・プティパの仕事

27 : 三大バレエ、『白鳥の湖』を鑑賞する。

28 バレエ・リュスとその後継者たち：ディアギレフの総合芸術としてのバレエ、芸術家たちとの協業

29 : ニジンスキー、マシーン、ニジンスカ振付けの作品を鑑賞する。

30 : バランシン、バレエ芸術の純化とモダン・バレエ

上演映像などの視聴覚教材を積極的に用いた講義となる。

【履修上の注意事項】

講義で実際に作品を鑑賞した受講者のみ鑑賞レポートを提出することが出来る。鑑賞時に欠席して、後ほど自分で鑑賞してレポートを提出するということは認めないので注意すること。

【評価方法】

4つの鑑賞レポートの評点（10点満点×4回）と出席点（60点×出席日数/授業日数）を考慮して行う。

【テキスト】

随時、教材のプリントを配布する。

【参考文献】

増井敬二『オペラを知っていますか』（音楽之友社、1995年）、薄井憲二『バレエ 誕生から現代までの歴史』（音楽之友社、1999年）。視聴覚教材は随時紹介する。

映像文化論

担当教員 村山 匡一郎

配当年次 1～4年

単位区分 選択

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

準備事項

備考 「映像形態論」単位修得者（2007年以前）履修不可

【授業のねらい】

映画・映像はメディアとして何かを描き、何かを伝えようとするが、その描かれた世界は、創り手が生きるそれぞれの社会や文化に基づいて表現される。そんな描かれた世界としての映画を、前期は日本と世界各国の映画文化のあり方を中心に、また後期は描かれた内容に焦点を当てて取り上げながら、日本とほかの文化圏の比較を通して今日の映画・映像の状況を改めて考えてみたい。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

- 1 はじめに：映画と社会
- 2 日本映画（1）日本社会と映画
- 3 日本映画（2）日本映画の現在
- 4 日本映画（3）作品上映
- 5 アメリカ映画（1）アメリカ社会とハリウッド
- 6 アメリカ映画（2）アメリカ映画と日本
- 7 アメリカ映画（3）作品上映
- 8 ヨーロッパ映画（1）ヨーロッパ社会と映画
- 9 ヨーロッパ映画（2）ヨーロッパ映画と日本
- 10 ヨーロッパ映画（3）作品上映
- 11 アジア映画（1）アジア社会と映画
- 12 アジア映画（2）中国語圏・韓流などの動き
- 13 アジア映画（3）アジア映画と日本
- 14 アジア映画（4）作品上映
- 15 前期まとめ
- 16 映画と娯楽（1）夢の工場
- 17 映画と娯楽（2）娯楽という仮面
- 18 映画と娯楽（3）世界市場とローカル市場
- 19 映画と娯楽（4）作品上映
- 20 映画と政治（1）戦争や内戦
- 21 映画と政治（2）植民地問題
- 22 映画と政治（3）イデオロギー対立
- 23 映画と政治（4）作品上映
- 24 映画と経済（1）グローバル化
- 25 映画と経済（2）経済格差
- 26 映画と経済（3）作品上映
- 27 映画と宗教（1）キリスト教圏
- 28 映画と宗教（2）イスラム教圏
- 29 映画と宗教（3）作品上映
- 30 後期まとめ

【履修上の注意事項】

意欲的な姿勢で受講することを望んでいる。作品上映（英語字幕もありうる）の際にはレポート提出を必須条件とし、参考文献はその都度指示する。

【評価方法】

評価対象は、前後期期末レポート（40点）、授業内レポート（30点）、出席（30点）。

【テキスト】

なし

【参考文献】

なし

英語 A 1

担当教員 進藤 幸代

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

開講時期 通年

授業形態 演習

単位数 2.0

備考 定員50名 抽選により履修者を決定（詳細は新年度ガイダンスにて確認すること）

【授業のねらい】

1年間で基本レベルの英語をマスターすることを目標とする総合英語（listening, reading, writing）であるが、同時に異文化への理解も深める。基礎力養成を目的とし、すでに学んだ英語を復習し、不足部分を補うためのクラスである。readingには比較的短い文章を用い、listeningではテキスト付属の音源だけではなく、洋楽や映画など、英語を身近に感じることが出来るような教材を使用したい。後期には基礎的な文法で書かれた物語を読むことに挑戦し、長めの文章にも慣れる練習を行う。

【授業の展開計画】

クラスは出席者のレベルによって進度を考慮するが、各自が予習してきていることを前提として授業を進めるので、事前に単語の意味を調べておくこと。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス	16	Unit10
2	Unit1	17	Unit11
3	Unit2	18	小テスト
4	小テスト	19	Unit12
5	Unit3	20	Unit13
6	Unit4	21	小テスト
7	小テスト	22	Unit14
8	Unit5	23	Unit15
9	Unit6	24	小テスト
10	小テスト	25	Unit16
11	Unit7	26	Unit17
12	Unit8	27	小テスト
13	小テスト	28	Unit18
14	Unit9	29	Unit19
15	小テスト	30	小テスト

【履修上の注意事項】

出席点は遅刻および欠席した場合はつかない。遅刻は出席を取った後から授業開始後30分までとし、それ以降は欠席扱いとなる。遅刻2回で欠席1回と数え、年間を通して1/3以上の欠席は試験を受ける権利を失うことになるので気をつけること。なお授業中のマナー（居眠り、おしゃべり、授業への不参加等）に欠ける者は減点の対象となる。辞書は毎回持参すること。ただし紙の辞書あるいは電子辞書のみとし、携帯電話は認めない。英検4級ぐらいから始め、1年で英検3級合格レベルを目安とします。必ず最初の授業に出席し、レベルを確かめること。

【評価方法】

出席重視の授業であるため、成績は 出席点と授業中の参加度（発表や課題など）：50% および 学期中に数回おこなう小テスト：50% で評価する。

【テキスト】

Terry O'Brien他『Good Times-English Daily Life in Easy English/基礎英語で学ぶイギリス生活』南雲堂 1900円＋税

【参考文献】

Essential Grammar in Use. English Edition with answers/Helen Naylor Raymond Murphy

英語 A 2

担当教員 進藤 幸代

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

開講時期 通年

授業形態 演習

単位数 2.0

備考 定員50名 抽選により履修者を決定（詳細は新年度ガイダンスにて確認すること）

【授業のねらい】

総合英語（listening, reading, writing）であるが、英語力の向上だけでなく、英語圏の社会や文化背景を学び、異文化理解を深めることを目標とし、日本人がアメリカに滞在する際に直面するであろう問題や気をつけたい点を取り上げたテキストを使用する。すでに学んだ英語を復習し、不足部分を補うことを各自が目指すことを期待する。

【授業の展開計画】

クラスは出席者のレベルによって進度を考慮する。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス	16	Unit10
2	Unit1	17	Unit11
3	Unit2	18	小テスト
4	小テスト	19	Unit12
5	Unit3	20	Unit13
6	Unit4	21	小テスト
7	小テスト	22	Unit14
8	Unit5	23	Unit15
9	Unit6	24	小テスト
10	小テスト	25	Unit16
11	Unit7	26	Unit17
12	Unit8	27	小テスト
13	小テスト	28	Unit18
14	Unit9	29	Unit19
15	小テスト	30	小テスト

【履修上の注意事項】

出席点は遅刻および欠席した場合はつかない。遅刻は出席を取った後から授業開始後30分までとし、それ以降は欠席扱いとなる。遅刻2回で欠席1回と数え、年間を通して1/3以上の欠席は試験を受ける権利を失うことになるので気をつけること。なお授業中のマナー（居眠り、おしゃべり、授業への不参加等）に欠ける者は減点の対象となる。辞書は毎回持参すること。ただし紙の辞書あるいは電子辞書のみとし、携帯電話は認めない。英検3級レベルがあることが目安です。必ず最初の授業に出席し、レベルを確かめること。

【評価方法】

出席重視の授業であるため、成績は出席点と授業中の参加度（発表や課題など）：50点 および 学期中に数回おこなう小テスト：50% で評価し、学期末試験は実行しない。

【テキスト】

Culture Watch U.S.A(アメリカ生活の基礎知識) / Emiko Kiyochi, Cindy H.Granger / 成美堂 1800円 + 税

【参考文献】

Essential Grammar in Use Edition with Answers / Helen Naylor, Raymond Murphy

英語 A 3

担当教員 進藤 幸代

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

開講時期 通年

授業形態 演習

単位数 2.0

備考 定員50名 抽選により履修者を決定（詳細は新年度ガイダンスにて確認すること）

【授業のねらい】

総合英語（listening, reading, writing）である。テキストはアメリカの歴史に関するもので、移民、人種、銃社会、食、同性結婚など、昔から現在に至るまでの幅広いトピックを扱っている。英語力の向上だけでなく、英語圏の社会や文化背景を学び、異文化理解を深めることを目標とする。すでに学んだ英語を復習し、不足部分を補うことを各自が目指すことを期待する。

【授業の展開計画】

テキストは文法的な難易度は高くないが、ある程度分量のあるものを用いるため、3レッスンで2課のペースで進めたいと考えるが、進度は出席者のレベルで決めたい。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス	16	Unit8
2	Unit1	17	Unit8,Unit9
3	Unit1, Unit2	18	Unit9
4	Unit2	19	小テスト
5	小テスト	20	Unit10
6	Unit3	21	Unit10,Unit11
7	Unit3,Unit4	22	Unit11
8	Unit4	23	小テスト
9	小テスト	24	Unit12
10	Unit5	25	Unit12,Unit13
11	Unit5,Unit6	26	Unit13
12	Unit6	27	小テスト
13	小テスト	28	Unit14
14	Unit7	29	Unit14,Unit15
15	小テスト	30	小テスト

【履修上の注意事項】

出席点は遅刻および欠席した場合はつかない。遅刻は出席を取った後から授業開始後30分までとし、それ以降は欠席扱いとなる。遅刻2回で欠席1回と数え、年間を通して1/3以上の欠席は試験を受ける権利を失うことになるので気をつけること。なお授業中のマナー（居眠り、おしゃべり、授業への不参加等）に欠ける者は減点の対象となる。辞書は毎回持参すること。ただし紙の辞書あるいは電子辞書のみとし、携帯電話は認めない。英検3級レベルがあることが目安です。長文を読むので必ず最初の授業に出席し、レベルを確かめること。

【評価方法】

出席重視の授業であるため、成績は 出席点と授業中の参加度（発表や課題など）：50% および 学期中に数回おこなう小テスト：50% で評価し、学期末試験は実行しない。

【テキスト】

America in Motion（アメリカの過去・現在・未来を読む）/ Gary Dendo, Masako Dendo / 成美堂 1800円＋税

【参考文献】

English Grammar in Use With Answers/Raymond Murphy

英語 A 4

担当教員 中村 寛

配当年次 1～4年

単位区分 選択

開講時期 通年

授業形態 演習

単位数 2.0

準備事項

備考 定員50名 抽選により履修者を決定（詳細は新年度ガイダンスにて確認すること）

【授業のねらい】

「英語」という言語を通して発せられる「考え（ideas）」や「ものの見方（ways of seeing）」に触れることを通して、母語ではない言葉を理解、解釈し、批判的に吟味する力を養っていく、というのがこの授業のねらいです。具体的には、教材や映像を用いて、言葉の背後にある複数の歴史的・文化的文脈を一緒に考えて行きます。

【授業の展開計画】

- (1) 初回の授業で重要な説明を行いますので必ず出席してください。初回を欠席すると致命的です。
- (2) 毎回の出席が必須です。各学期で3回以上欠席すると単位を認められません。やむを得ない理由で欠席する人は、必ずメール等で事前に連絡をください。
- (3) 当然ですが遅刻も厳禁です。10分から30分までを遅刻扱いとして、遅刻2回で欠席1回分とします。30分を超えた遅刻に関しては欠席扱いとなります。
- (4) ほぼ毎回、授業の初めにミニ・テストを行います。遅刻や欠席の場合、これに関しての追試は行いません。

第1回 イントロダクション 講義の進め方に関するオリエンテーション等

第2回 テキスト 第1章

第3回 テキスト 第2章

第4回 テキスト 第3章

第5回 テキスト 第4章

第6回 テキスト 第5章

第7、8、9、10回 日常的やり取り ドラマ『フレンズ』

第11回 テキスト 第6章

第12回 テキスト 第7章

第14回 テキスト 第8章

第15回 テキスト 第9章

第16回 テキスト 第10章

第17回 テキスト 第11章

第18回 テキスト 第12章

第19回 テキスト 第13章

第20回 テキスト 第14章

第21回 テキスト 第15章

第22、23、24、25回 皮肉の面白さ ドラマ『となりのサインフェルド』

第26回 テキスト 第16章

第27回 テキスト 第17章

第28回 テキスト 第18章

第29回 テキスト 第19章

第30回 テキスト 第20章

【履修上の注意事項】

(1) 毎回、必ず英和辞典を持ってきてください。紙の辞書の場合は、中型以上のものを用意すること。携帯の辞書や小型の電子辞書は不可。

(2) 予習・復習をして授業に臨んでください。間違いを恐れず、勇気とユーモアと想像力とをもって、「言葉」に接してもらえればと思います。

(3) 英検準2級レベル以上あることが目安です。必ず最初の授業に出席してレベルを確認してください。

【評価方法】

出席率や参加の仕方等の平常点が40パーセント。授業時間内のミニ・テストが40パーセント。前期・後期の期末試験が各10パーセント。

【テキスト】

(1) ジム・クヌーセン, 丸山孝男, 『Looking and Listening Images of New York 素顔のニューヨーク』南雲堂, 2003. (2) 英和辞典(中型以上のもの。なるべく紙の辞書を用意してください。)

【参考文献】

随時授業中に提示します。

特英原書講読

担当教員 中村 寛

配当年次 1～4年

単位区分 自由

開講時期 通年

授業形態 講義

単位数 4.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

書かれた文章を読むことを通じて<社会や人を読む>力を養うというのがこの授業のねらいです。「自分」の頭で考えるために「他者」の考えを読む、そして「他者」の考えを理解するために「自分の頭」が無意識のうちに考えてしまっていることを批判的に(再)吟味していきます。具体的には、教科書や本の抜粋を用いてアメリカ社会の様々な「問題」に焦点を当て、検討していきます。

【授業の展開計画】

- (1) 初回の授業で重要な説明を行いますので必ず出席してください。初回を欠席すると致命的です。
- (2) 毎回の出席が必須です。各学期で3回以上欠席すると単位を認められません。やむを得ない理由で欠席する人は、必ずメール等で事前に連絡をください。
- (3) 遅刻も厳禁です。10分から30分までを遅刻扱いとして、遅刻2回で欠席1回分とします。30分を超えた遅刻に関しては欠席扱いとなります。
- (4) ほぼ毎回、授業の初めにミニ・テストを行います。遅刻や欠席の場合、これに関しての追試は行いません。

第1回 イントロダクション 講義の進め方に関するオリエンテーション等

第2、3回 テキスト Lesson 1

第4、5回 テキスト Lesson 2

第6、7回 テキスト Lesson 3

第8、9回 テキスト Lesson 4

第10、11回 テキスト Lesson 5

第12、13回 テキスト Lesson 6

第14回 ダイアログとメタローク G. Bateson, Steps to an Ecology of Mind

第15回 前期全体の総まとめ・総復習

第16、17回 テキスト Lesson 7

第18、19回 テキスト Lesson 8

第20、21回 テキスト Lesson 9

第22、23回 テキスト Lesson 10

第24、25回 テキスト Lesson 11

第26、27回 テキスト Lesson 12

第28、29回 都市の若者たち T. Williams et al., The Uptown Kids, Intro

第30回 後期全体の総まとめ・総復習

【履修上の注意事項】

(1) 毎回、必ず英和辞典を持ってきてください。紙の辞書の場合は、中型以上のものを用意すること。携帯の辞書や小型の電子辞書は不可。(2) 予習・復習をして授業に臨んでください。「難しい」と感じる文章もあるかもしれませんが、最初から全てが理解できなくても、諦めずに目を通してください。間違いを恐れず、勇気とユーモアと想像力とをもって、「言葉」に接してもらえればと思います。

(3) 英語A4(英検準2級以上)と同じレベルです。必ず最初の授業に出席してレベルを確認してください。

【評価方法】

出席率や参加の仕方等の平常点が40パーセント。授業時間内のミニ・テストが40パーセント。前期・後期の期末試験が各10パーセント。

【テキスト】

(1) ジム・クヌーセン, 石黒昭博, 『American Moment アメリカン・モーメント』南雲堂, 2002。(2) 英和辞典(中型以上のもの。なるべく紙の辞書を用意してください。)

【参考文献】

随時授業中に提示します。

仏語 A

担当教員 小穴 晶子

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 演習

単位数 2.0

【授業のねらい】

簡単な会話表現を中心に文法の基礎を学ぶ。初めてフランス語を学ぶ学生を対象として、フランス語の基礎を習得することを目標とする。和文仏訳の練習として、簡単な表現を使ったフランス語の絵本の作成を課題として組み込み、そのための文法解説をも並行して行う。

【授業の展開計画】

教科書の文法・語彙を学んだら、必ずそれを使って自分でフランス語の文を作り、質問・答えなどの練習をする。フランス語絵本作成を組み込むことによって、自分の言いたいことをフランス語にする練習を深める。授業中は、必ず声に出してフランス語を学ぶ習慣をつける。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	授業の進め方、フランス語学習のこつ	16	前期学習内容の復習
2	第1課文法	17	第5課文法
3	第1課練習問題	18	第5課練習問題
4	第1課会話練習	19	第5課会話練習
5	第2課文法	20	第6課文法
6	第2課練習問題	21	第6課練習問題
7	第2課会話練習	22	第6課会話練習
8	第3課文法	23	絵本作成作業
9	第3課練習問題	24	第7課文法
10	第3課会話練習	25	第7課練習問題
11	絵本作成に向けての準備	26	第7課会話練習
12	第4課文法	27	第8課文法
13	第4課練習問題	28	第8課練習問題
14	第4課会話練習	29	第8課会話練習
15	前期学習内容のまとめ	30	全体のまとめ

【履修上の注意事項】

CD付きの教科書を用いるので、自分で何度も聴いて発音練習をすること。授業の時間以外にもフランス語に親しむ機会を作るよう努力すること。

【評価方法】

単位修得のためには出席日数（3分の2以上）、前・後期末テスト（各50点以上）が必要。

【テキスト】

「コクリコ (Coquelicot)」藤田尊潮著（白水社）

【参考文献】

なし

仏語 B

担当教員 小穴 晶子

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 演習

単位数 2.0

【授業のねらい】

仏語Aに引き続きフランス語の基礎を習得することを目標とする。仏語Aで用いた教科書の後半部分を終わらせる。教科書の文法・語彙を確実に身につけるため、簡単な文章を作って他人と会話する練習を行う。和文仏訳の練習のためやさしい物語をつくってフランス語の絵本を作る作業をも適宜組み込む。

【授業の展開計画】

教科書にしたがって文法事項・語彙を学んだ後には、必ずそれを使って自分で文を作る練習をする。2人1組で会話の練習をも行う。予習・復習は大切であるが、特に復習が重要である。絵本作成作業を組み込むことにより、自分の言いたいことをフランス語にする練習となる。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	授業の進め方	16	前期学習内容の復習
2	教科書第8課文法	17	第12課文法
3	第8課練習問題	18	第12課練習問題
4	第8課会話練習	19	第12課会話練習
5	第9課文法	20	第13課文法
6	第9課練習問題	21	第13課練習問題
7	第9課会話練習	22	第13課会話練習
8	絵本作成準備作業	23	絵本作成作業
9	第10課文法	24	第14課文法
10	第10課練習問題	25	第14課練習問題
11	第10課会話練習	26	第14課会話練習
12	第11課文法	27	第15課文法
13	第11課練習問題	28	第15課練習問題
14	第11課会話練習	29	第15課会話練習
15	前期学習内容のまとめ	30	全体のまとめ

【履修上の注意事項】

CD付きの教科書を用いるので、自分で何度も聴いて発音練習をすること。授業の時間以外にもフランス語に親しむ機会を作るよう努力すること。

【評価方法】

単位修得のためには出席日数（3分の2以上）、前後期末テスト（各50点以上）が必要。

【テキスト】

「コクリコ (Coquelico)」藤田尊潮 著（白水社）

【参考文献】

なし

伊語 A

担当教員 松浦 弘明

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 演習

単位数 2.0

【授業のねらい】

イタリアという国は美術を学ぶ学生にとってまさに宝の山である。その豊穡な文化の核であり、コミュニケーションの基本である言語を学ぶことは、自身の世界を広めるために必要不可欠なことと考える。本講座では、まったくの初心者を対象に、1年間で基本的な文法と会話を習得することを目的とする。それと同時に、外国語を学ぶことは決してつらいことではなく、実に楽しいことであることを伝えられればと思う。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス	16	ガイダンス
2	伊語の基礎	17	規則動詞現在形
3	名詞：男性名詞と女性名詞	18	規則動詞現在形
4	「これは～です」の構文	19	時間の表現
5	形容詞	20	時間の表現
6	「この[名詞]は[形容詞]です」の構文	21	人称代名詞の直接補語の使い方
7	定冠詞と所有形容詞	22	規則動詞現在形
8	「私は～です」の構文	23	規則動詞現在形
9	「私は～を持っている」の構文	24	人称代名詞の間接補語の使い方
10	名詞：名詞の複数形	25	規則動詞現在形
11	「～がある」の構文	26	不規則動詞現在形
12	規則動詞現在形	27	不規則動詞現在形
13	規則動詞現在形	28	不規則動詞現在形
14	規則動詞現在形	29	不規則動詞現在形
15	まとめ	30	まとめ

【履修上の注意事項】

出席していないとわからなくなることが多いので注意すること。
予習は必要ないが、復習はしっかりやるように。

【評価方法】

出席(50%)を重視する。前期(25%)と後期(25%)の終わりに筆記試験を行う。

【テキスト】

プリントを配布します。

【参考文献】

なし

伊語 B

担当教員 松浦 弘明

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 演習

単位数 2.0

【授業のねらい】

イタリア語Aを履修した者を対象に、より高度な文法と会話を学ぶ。
文法事項は主に不規則動詞の現在形と近過去・半過去の使い方を学習し、最終的には、辞書を用いれば、ある程度の文章を書いたり読んだりすることが可能となるレベルに到達することを目的とする。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス	16	ガイダンス
2	名詞&形容詞の復習	17	半過去の用法
3	規則動詞現在形の復習	18	半過去の用法
4	規則動詞現在形の復習	19	半過去の用法
5	規則動詞現在形の復習	20	未来形の用法
6	不規則動詞の現在形の復習	21	未来形の用法
7	不規則動詞の現在形の復習	22	未来形の用法
8	準動詞の用法	23	イタリア映画鑑賞
9	準動詞の用法	24	イタリア映画鑑賞
10	準動詞の用法	25	条件法現在の用法
11	近過去の用法	26	条件法現在の用法
12	近過去の用法	27	関係代名詞の使い方
13	近過去の用法	28	関係代名詞の使い方
14	近過去の用法	29	関係代名詞の使い方
15	まとめ	30	まとめ

【履修上の注意事項】

予習は必要ないが、復習はしっかり行うこと。

【評価方法】

出席(50%)を重視する。前期末(25%)と後期末(25%)に筆記試験を行う。

【テキスト】

プリントを配布します。

【参考文献】

なし

韓国語

担当教員 白 允生

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 演習

単位数 2.0

【授業のねらい】

初級韓国語。韓国語の基本を学ぶ。韓国語は日本語とおなじ言語群であり、文法が極めて似ている。この入門講座は韓国語を初めて学ぶ人を対象とし、基礎的生活会話を学習しながら、基本となる読み書きの力をしっかりと身につけていくことを目標とする。

【授業の展開計画】

週	授業項目	内容
1	韓国語の特徴	基本母音の発声法
2	ハングル字母の理解	複合母音の発声法
3	々	基本子音と双子音の発声法
4	々	パッチムのある字(1)
5	々	パッチムのある字(2)
6	々	発音時の約束
7	教科書により進める	第4課 田中です
8	々	第5課 どこにありますか？
9	韓国映画鑑賞(1)	
10	韓国映画鑑賞(2)	
11	教科書により進める	第6課 レポートはいつ出しますか？
12	々	第7課 そんなに高くありませんか？
13	々	第8課 お母さんも一緒に来られますか？
14	々	第9課 プレゼント開けてみてください
15	前期のまとめ	
16	教科書により進める	第10課 学校に何時に行きますか？
17	々	第11課 映画をよくご覧になりますか？
18	々	第12課 カバンと靴を買いに行きました
19	々	第13課 去年一番ヒットした歌です
20	韓国映画鑑賞(3)	
21	韓国映画鑑賞(4)	
22	教科書により進める	第14課 有名な店に必ず案内します
23	々	第15課 百貨店が休みの日です
24	々	第16課 頭痛はすっかり治りましたか？
25	々	第17課 韓国の歌をよく聴いていますか？
26	韓国の歌	
27	教科書により進める	第18課 春は暖かく夏はとても暑いです
28	々	第19課 白い大きな看板が見えるでしょ
29	々	第20課 普通の辞典と少し違います
30	年度末まとめ	第21課 最近忙しいですか？

【履修上の注意事項】

なし

【評価方法】

前期と後期の終わりに各一回、テストを実施し習熟度を見る
参考成績評価基準（出席；50%、熱意；10%、前期試験；20%、後期試験；20%）

【テキスト】

『ことばの架け橋』改訂版
『パスポート朝鮮語小辞典』

生越直樹・曹喜澈著
塚本勲監修

白帝社
白水社

【参考文献】

なし

独語

担当教員 松田 直成

配当年次 1～4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 通年

授業形態 演習

単位数 2.0

【授業のねらい】

ドイツ語の初歩を学び、ドイツ語圏の生活や文化についても理解を深める。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス	16	前期の復習、他（前期試験の答案返却）
2	アルファベットと発音(1)	17	Lektion 9：動詞の3基本形、他
3	アルファベットと発音(2)	18	Lektion 10：再帰動詞と非人称動詞、他
4	Lektion 1：動詞の現在人称変化(1)、他	19	Lektion 9-10 の復習と補遺
5	Lektion 2：名詞の性・数・格と冠詞	20	Lektion 11：形容詞の格変化、他
6	Lektion 3：動詞の現在人称変化(2)、他	21	補足：数詞（序数、他）
7	Lektion 1-3 の復習と補遺	22	Lektion 12：形容詞の比較変化、他
8	Lektion 4：名詞の複数形、他	23	Lektion 13：zu不定詞と分詞
9	Lektion 5：定冠詞と不定冠詞、他	24	Lektion 11-13 の復習と補遺
10	Lektion 6：前置詞	25	Lektion 14：関係代名詞、他
11	Lektion 4-6 の復習と補遺	26	Lektion 15：受動態
12	Lektion 7：複合動詞/接続詞	27	Lektion 16：接続法
13	Lektion 8：話法の助動詞、他	28	Lektion 14-16 の復習と補遺
14	Lektion 7-8 復習と補遺	29	総復習/質問、他
15	前期まとめ	30	後期まとめ

【履修上の注意事項】

語学の授業なので、出席を重視する。

【評価方法】

年2回の定期試験（前期・後期、各40%）の成績に、平常点（出席・小テスト・授業への参加度等、20%）を加味して、総合的に評価する。

【テキスト】

教科書として、『魔女で学ぶドイツ語』（三修社）を使用する。

【参考文献】

特になし。

生涯スポーツ・ゴルフ

担当教員 伊藤 洋子

配当年次 1～4年

単位区分 自由

開講時期 後期

授業形態 実習

単位数 1.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

ゴルフの基本理論や基本技術を学習することにより、文化としてのスポーツを理解し、さらに実践の場における健康管理や人間関係について学習する。ドライバーの打ち方に重点をおいた技術とコースに出た場合の種々の場面の対応について学習する。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内 容

- 1 オリエンテーション（4/26 15:40～ 本-303）
- 2 事前指導：ルール、マナー、ゴルフクラブの説明
- 3 7番アイアンハーフスウィング、フルショット150球
- 4 7番アイアンフルショット：7番アイアンフルショット、150球
- 5 9番アイアンの説明とフルショット：9番アイアンフルショット150球
- 6 スプーンの使い方とフルショット：9番アイアン、スプーンフルショット150球
- 7 ドライバーの説明とフルショット：7番アイアン、ドライバーフルショット150球
- 8 アイアン、ドライバーフルショット："
- 9 PW9Iによる10Y～50Yのアプローチ練習：PWによる練習、アイアン、ドライバー練習150球
- 10 SWIによるバンカーショット：SWIによるバンカーショット、アイアン、ドライバー練習150球
- 11 7Iによるランニングアプローチ：7Iによる練習、アイアン、ドライバー練習150球
- 12 7Iによるランニングアプローチ：7Iによる練習、アイアン、ドライバー練習150球
- 13 コースに出た時の説明、パター練習：パター練習、アイアン、ドライバー練習150球
- 14 総合練習：これまでの総合練習
- 15 総合練習：これまでの総合練習

【履修上の注意事項】

初級～上級者対象。実習場所：学外の施設（ティンバーゴルフ）にて実習する。ゴルフクラブは貸与。打球数：毎時間150球。プロのアドバイスも受けることができる。定員（15名）を超える履修希望者があった場合には担当教員の判断によって人数制限をすることがある。（その場合には原則として上級生、前年度までにゴルフを履修した学生が優先）前期の第1日目に学内で事前指導をするので受講希望者は出席すること。費用：15,000円。（登録日までに本館3階共通教育研究室に納入）

【評価方法】

成績評価：出席状況（90%）参加態度（10%）で評価をする。

【テキスト】

ゴルフクラブは大学で用意する。

【参考文献】

授業時に配布する。

生涯スポーツ・テニスA

担当教員 島崎 あかね

配当年次 1～4年

単位区分 自由

開講時期 前期

授業形態 実習

単位数 1.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

生涯スポーツとして人気の高いテニスを通して、生涯にわたり健康的な生活を送るための手段としての運動方法を身につけると同時に、楽しく身体を動かす基本技術を獲得することを目的とする。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス（本 - 201）
2	フォアハンドストローク
3	フォアハンドストローク
4	バックハンドストローク
5	バックハンドストローク
6	ボレー（フォア・バック）
7	スマッシュ
8	サービス
9	シングルス戦の実践
10	〃
11	〃
12	ダブルス戦の実践
13	〃
14	〃
15	まとめ

【履修上の注意事項】

A（前期）・B（後期）は同一内容の授業につき半期のみ登録。

技術の上達より、楽しく身体を動かすことができるよう、積極的な態度での出席を望みます。個人のテニスラケットを持っている場合は持参してください。

雨天時（本 - 201）

【評価方法】

出席状況 60%、授業への積極性 30%、ミニレポート 10%

【テキスト】

なし

【参考文献】

必要に応じて、授業時に配布

生涯スポーツ・テニスB

担当教員 島崎 あかね

配当年次 1～4年

単位区分 自由

開講時期 後期

授業形態 実習

単位数 1.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

生涯スポーツとして人気の高いテニスを通して、生涯にわたり健康的な生活を送るための手段としての運動方法を身につけると同時に、楽しく身体を動かす基本技術を獲得することを目的とする。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス（本 - 201）
2	フォアハンドストローク
3	フォアハンドストローク
4	バックハンドストローク
5	バックハンドストローク
6	ボレー（フォア・バック）
7	スマッシュ
8	サービス
9	シングルス戦の実践
10	〃
11	〃
12	ダブルス戦の実践
13	〃
14	〃
15	まとめ

【履修上の注意事項】

A（前期）・B（後期）は同一内容の授業につき半期のみ登録。

4月26日（火）に行われるAのガイダンスに出席することも可。

技術の上達より、楽しく身体を動かすことができるよう、積極的な態度での出席を望みます。個人のテニスラケットを持っている場合は持参してください。

雨天時（本 - 201）

【評価方法】

出席状況 60%、授業への積極性 30%、ミニレポート 10%

【テキスト】

なし

【参考文献】

必要に応じて、授業時に配布

生涯スポーツ・ソーシャルダンス

担当教員 伊藤 洋子

配当年次 1～4年

単位区分 自由

開講時期 前期

授業形態 実習

単位数 1.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

ラテンダンスの基本となる技術を学ぶことにより、ダンスのスポーツ性、社交性、音楽に対する感性を身につけ、それらの要素をまとめあげる芸術性を追求する。前期は、ダンスの理論（基本知識、マナー、音楽など）と実技（マンボ、ジルバ、サンバ）のラテン種目について、初歩の技術を学習する。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

- 1 基礎知識講義とビデオ：ダンスの基礎知識、ビデオによる実技導入（本-303）
- 2 マンボ（チャチャ）：ベーシック、ハーフトーン、フルターン、ニューヨーク
- 3 マンボ（チャチャ）：ショルダーツーショルダー、ハンズツーハンズ、スポットターン、リバースターン（8の字）、ナチュラルターンウォーク
- 4 ジルバ：ベーシック、アンダーアームターン、チェンジオブプレイス、ウォーク（前進）
- 5 ジルバ：チェンジオブハンズビハインドバック、ウィンドミル、ゆりかご、ゆりかごでのウォーク
- 6 ジルバ：ウォーク（前後）、ストップ＆ゴー（2種類）
- 7 ジルバ：アメリカンスピン、ウィンドミル バックウォーク
- 8 ジルバ：フラールト、プレッツェル
- 9 ジルバ：ローリングオフジアーム（2種類）
- 10 ジルバ：男性パートが自由にフィガーを組んでの練習
- 11 サンバ（初級）：ベーシック、ホイスク、ボトホゴス（前後）サンバウォーク
- 12 サンバ（初級）：サイドサンバウォーク、シャドーボトホゴス（シャドーポジションでの）、ローリングオフジアーム
- 13 サンバ、マンボ、ジルバの総復習
- 14 マンボ、ジルバ、サンバの曲をききとり、男性が自由に組み立て踊る練習
- 15 パーティ形式での総復習：流れた曲に対応し、女性を誘って一曲踊る練習

【履修上の注意事項】

服装：タイトなロングスカート不可。その他動きやすい日常着及びシューズ可。（ミュールなどバックバンドのないシューズ不可）

【評価方法】

成績評価：出席状況(90%)と参加態度(10%)で評価をする。

【テキスト】

なし

【参考文献】

授業時に資料を配布する。

生涯スポーツ・ソーシャルダンス

担当教員 伊藤 洋子

配当年次 1～4年

単位区分 自由

開講時期 後期

授業形態 実習

単位数 1.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

ソーシャルダンスの基本となる技術を学ぶことにより、ダンスのスポーツ性、社交性、音楽に対する感性を身につけ、それらの要素をまとめあげる芸術性を追求する。

前期の技術を基礎に、下記の種目（チャチャチャ、スクエアルンバ、キューバンルンバ、サンバ）について、中級程度までの技術を学び、ダンスパーティーなどに参加できる技術・マナーを身につける。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

- 1 ビデオによる実技説明：各種目のリズムのとり方と基本動作の説明(4/26 本-303)
- 2 チャチャチャ：ベーシック、ニューヨーク、ハンズツーハンズ、アレマーナ、スリーチャチャチャ（左右）
- 3 チャチャチャ：スリーチャチャチャ（前後）、スポットターン ショルダーツーショルダー
- 4 チャチャチャ：オープンヒップツイスト、ファン、ホッキースティック ターキッシュユタオル
- 5 チャチャチャ：ナチュラルトップ、クローズドヒップツイスト、ボックスツイスト
- 6 チャチャチャ：ホローマイリーダー
- 7 スクエアールンバ：サイドステップ、スリーステップターン、クカラチャ、ナチュラルトップ、ナチュラルターンウォーク
- 8 キューバンルンバ：チャチャチャと同フィガーのルンバ練習
- 9 キューバンルンバ：フェンシング、アイーダ、キューバンロック
- 10 キューバンルンバ：スライディングドア、自由に組み立てての練習
- 11 サンバ（初級）：前期のサンバフィガーの練習、ボトホゴス サーキュラーボルタ
- 12 "（中級）：シャドーボトホゴス クリスクロス、初級・中級を続ける
- 13 チャチャマンボとチャチャチャ、キューバンルンバとスクエアールンバをミックスして踊る方法
クリスマスの曲にルンバとサンバを振り付けたものを踊る
- 14 チャチャチャ、ルンバ、サンバ、ジルバの曲をききわけ、男性が自由に振り付けて踊る練習
- 15 パーティ形式で総復習：マンボ、ジルバ、チャチャチャ、ルンバ、サンバの流れた曲に対応して踊る

【履修上の注意事項】

服装：タイトなロングスカート不可。その他動きやすい日常着・シューズ可。ミュールなどバックバンドのないシューズ不可。（オリエンテーションは4月26日（火）、本-303で行います）

【評価方法】

成績評価：出席状況（90％）と参加態度（10％）で評価をする。

【テキスト】

なし

【参考文献】

授業時に配布する。

生涯スポーツ・ニュースポーツ

担当教員 伊藤 洋子

配当年次 1～4年

単位区分 自由

開講時期 前期

授業形態 実習

単位数 1.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

ニュースポーツは、全身運動としての運動効果があり、初心者から熟練者まで、年齢、体力、身体能力に応じて運動量を調整することが可能である。前期は、ニュースポーツを通して友人間の交流を深め、身体と心の健康を維持増進することを目的として、インディアカゲーム・バレーボール・フリーテニスを開講する。雨天時・強風時には、室内でヨガ・ストレッチ軽い筋肉トレーニングなどを行なう。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内 容

- 1 ゲームの歴史・用具・コート・ルールの説明：本館 - 301
- 2 インディアカゲーム（コート数3面）：ルール説明と基本練習・簡易ゲーム
- 3 インディアカゲーム（コート数3面）：基本練習とゲーム
- 4 インディアカゲーム（コート数3面）：基本練習とゲーム
- 5 インディアカゲーム（コート数3面）：基本練習とゲーム
- 6 バレーボール（コート数3面）：ルール説明、基本練習、簡易ゲーム
- 7 バレーボール（コート数3面）：基本練習とゲーム
- 8 バレーボール（コート数3面）：基本練習とゲーム
- 9 バレーボール（コート数3面）：基本練習とゲーム
- 10 フリーテニス（コート数6面）：ルール説明、基本練習、簡易ゲーム
- 11 フリーテニス（コート数6面）：基本練習とゲーム
- 12 フリーテニス（コート数6面）：基本練習とゲーム
- 13 フリーテニス（コート数6面）：基本練習とゲーム
- 14 ヨガ・ストレッチ（雨天時・強風時）：ストレッチマットを使用。音楽を流してのヨガストレッチ（ツイスト板、ゴムチューブを用いた筋肉トレーニングもとり入れる）
- 15 救 急 処 置 法（雨天時・強風時）：日常で起こり易い怪我等の救急処置法とAED（自動対外式除細動器）の使い方について学習する。

【履修上の注意事項】

服装：運動着（伸縮性のないジーンズ・ワンピース・スカート不可）・運動靴（テニス兼用コート使用及び怪我防止の為、革靴・ブーツ等の着用は不可）

学内テニスコート内兼用コートにて実技を行う。種目は参加人数により毎週決定する。

雨天時本館301にて実技（ヨガストレッチ）

【評価方法】

成績評価：出席状況（90%）と参加態度（10%）で評価をする。

【テキスト】

用具は大学にて用意をする。

【参考文献】

授業時に配布する。

生涯スポーツ・ニュースポーツ

担当教員 伊藤 洋子

配当年次 1～4年

単位区分 自由

開講時期 後期

授業形態 実習

単位数 1.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

老若男女・運動経験を問わず楽しめるニュースポーツのうち、後期では、ソフトバレーボール・バドミントンゲーム・ユニホッケーを開講する。雨天時・強風時は前期同様、室内でヨガ・ストレッチ、軽い筋肉トレーニングなどを行う。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

- 1 ゲームの歴史・用具・コート・ルール説明：事故防止についても説明(5/6 14:00～ 本 - 301)
- 2 ソフトバレーボール（コート数3面）：ルール説明・基本練習・簡易ゲーム
- 3 ソフトバレーボール（コート数3面）：基本練習とゲーム
- 4 ソフトバレーボール（コート数3面）：基本練習とゲーム
- 5 ソフトバレーボール（コート数3面）：基本練習とゲーム
- 6 バドミントン（コート数3面）：ルール説明、基本練習、簡易ゲーム
- 7 バドミントン（コート数3面）：基本練習とゲーム
- 8 バドミントン（コート数3面）：基本練習とゲーム
- 9 バドミントン（コート数3面）：基本練習とゲーム
- 10 ユニホッケー（コート数1面）：ルール説明、基本練習、ゲーム
- 11 ユニホッケー（コート数1面）：基本練習とゲーム
- 12 ユニホッケー（コート数1面）：基本練習とゲーム
- 13 ユニホッケー（コート数1面）：基本練習とゲーム
- 14 ヨーガストレッチ（雨天時・強風時）：ヨーガストレッチと筋肉トレーニング（2～3人組のトレーニング）と簡単なダンスもとり入れる。
- 15 パタパタ（アフリカのダンス）、一人なわとび、二人なわとびから全員での大なわとびなどリズム系の種目も体験する

【履修上の注意事項】

服装：運動着（伸縮性のないジーンズ・ワンピース・スカート不可）・運動靴（テニス兼用コート使用及び怪我防止の為、革靴・ブーツ等の着用は不可）

学内テニスコート内の兼用コートにて実技を行う。種目は参加人数により決定する。

雨天時本館301にて実技（ヨーガストレッチ）

オリエンテーションは前期に と合同で行います。

【評価方法】

成績評価：出席状況（90%）と日常の参加態度（10%）で評価をする。

【テキスト】

用具は大学にて用意をする。

【参考文献】

授業時に配布する。

生涯スポーツ・ボウリングA

担当教員 伊藤 洋子

配当年次 1～4年

単位区分 自由

開講時期 集中(7月中旬)

授業形態 実習

単位数 1.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

ボウリングの実習を通して、基本技術を修得するとともに、自らの健康や身体感覚についての意識を持ち、文化としてのスポーツ及び、グループで楽しむスポーツのマナーを学習する。

講義：ボウリングの歴史、ボール、ピン、アプローチ、スコアのつけ方を学習する。

実技：ストライク、スペアのとり方を3・6・9システムにより学習する。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

- 1 オリエンテーション・事前指導：授業内容の説明・3、6、9システムの説明(4/26本-303)
- 2 集中実習1日目 講義：(テキスト配布)ボウリングの歴史
講義：ボール、ピン、アプローチの説明
実技：4歩助走のタイミングと基本動作の練習 1ゲーム投球
- 集中実習2日目 講義：スコアのつけ方、ストライクの狙い方の説明
実技：2番スポットからテープを張り、ストライクを狙った投球練習
実技：スコアをつけての2ゲーム投球練習
- 集中実習3日目 講義：スペアの狙い方(3、6、9システム)の説明、レーン・機械の見学
実技：7番ピンを狙った投球練習・10番ピンを狙った投球練習
実技：スコアをつけての2～3ゲーム投球練習
- 集中実習4日目 講義：ヨーロッパ、アメリカン方式の投球の仕方の説明
実技：アメリカン方式で3ゲーム投球
実技：3ゲームの合計点数で上位者表彰

レポート提出(4日目に用紙配布)：講義内容から問題を出題

【履修上の注意事項】

A(前期)・B(後期)は同一内容の授業につき半期のみ登録。前期(7/12～15)学外施設-BigBox8F(高田馬場)にて5日間の集中実習。(内1日はレポート提出、実技は4日間)4月に事前指導があるので受講希望者は出席すること。

費用：6,000円。登録日までに本館3階共通教育研究室に納入。定員を超える履修希望者があった場合には担当教員の判断によって人数制限をすることがある。(その場合には原則として上級生が優先)

又、707-を借り切っている為、費用納入後極端に人数の少ない場合には、前・後期を合同とすることもある。

【評価方法】

成績評価：出席状況(70%)・参加態度(10%)・レポート(20%)で評価する。

【テキスト】

ボウリングテキスト(テキスト代はボウリング実習費に含まれている)

【参考文献】

オリエンテーション時及び授業時に配布

生涯スポーツ・ボウリングB

担当教員 伊藤 洋子

配当年次 1～4年

単位区分 自由

開講時期 集中（9月中旬）

授業形態 実習

単位数 1.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

ボウリングの実習を通して、基本技術を修得するとともに、自らの健康や身体感覚についての意識を持ち、文化としてのスポーツ及び、グループで楽しむスポーツのマナーを学習する。

講義：ボウリングの歴史、ボール、ピン、アプローチ、スコアのつけ方を学習する。

実技：ストライク、スペアのとり方を3・6・9システムにより学習する。

【授業の展開計画】

週 授業項目：内容

- 1 オリエンテーション・事前指導：授業内容の説明・3、6、9システムの説明(4/26 15:40～本 - 303)
- 2 集中実習1日目 講義：（テキスト配布）ボウリングの歴史
講義：ボール、ピン、アプローチの説明
実技：4歩助走のタイミングと基本動作の練習 1ゲーム投球
- 集中実習2日目 講義：スコアのつけ方、ストライクの狙い方の説明
実技：2番スポットからテープを張り、ストライクを狙った投球練習
実技：スコアをつけての2ゲーム投球練習
- 集中実習3日目 講義：スペアの狙い方（3、6、9システム）の説明、レーン・機械の見学
実技：7番ピンを狙った投球練習・10番ピンを狙った投球練習
実技：スコアをつけての2～3ゲーム投球練習
- 集中実習4日目 講義：ヨーロッパ、アメリカン方式の投球の仕方の説明
実技：アメリカン方式で3ゲーム投球
実技：3ゲームの合計点数で上位者表彰

レポート提出（4日目に用紙配布）：講義内容から問題を出題

【履修上の注意事項】

A(前期)・B(後期)は同一内容の授業につき半期のみ登録。後期(9/27～30)学外施設-BigBox8F(高田馬場)にて5日間の集中実習。(内1日はレポート提出、実技は4日間)4月に事前指導があるので受講希望者は出席すること。(4/26 15:40～本 - 303)費用：6,000円。登録日までに本館3階共通教育研究室へ納入。定員を超える履修希望者があった場合には担当教員の判断によって人数制限をすることがある。(その場合には原則として上級生が優先)又、707-を借り切っている為、費用納入後極端に人数の少ない場合には、前・後期を合同とすることもある。

【評価方法】

成績評価：出席状況（70%）・参加態度（10%）・レポート（20%）で評価する。

【テキスト】

ボウリングテキスト（テキスト代はボウリング実習費に含まれている）

【参考文献】

オリエンテーション時及び授業時に配布

生涯スポーツ・ストックウォーキング

担当教員 島崎 あかね

配当年次 1～4年

単位区分 自由

開講時期 前期

授業形態 実習

単位数 1.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

人間の基本的な移動手段である歩行時に両手にストックを持つことで、より運動効果を高め、運動量を増加させるストックウォーキングの技術を身につけ、健康および体力の維持・増進に活用することを目的とする。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス(本 - 201)
2	ストックウォーキングの歴史と現状
3	基本の歩き方
4	〃
5	上り坂・下り坂の歩き方
6	ウォーミングアップとクーリングダウンの方法
7	ストックを使ったゲーム
8	ストックを使ったトレーニング
9	〃
10	ストックを使った種目の紹介・実践
11	ストックウォーキングの実践
12	〃
13	〃
14	〃
15	まとめ

【履修上の注意事項】

「歩行」という誰にでもできる移動方法を活用した運動ですが、その運動効果を体験的に理解することで生涯スポーツとしての広がりを感じましょう。歩行にふさわしいシューズを着用してください。

雨天時(本 - 201)

【評価方法】

出席状況 60%、授業への積極性 30%、ミニレポート 10%

【テキスト】

なし

【参考文献】

必要に応じて、授業時に配布

生涯学習概論

担当教員 山崎 雅子

配当年次 1～4年

単位区分 学芸員課程履修者必修

開講時期 後期

授業形態 講義

単位数 2.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

私たちの周りには、生涯学習という言葉で表わされる様々な学習とそれを成り立たせるための教育が営まれている。本授業では、生涯学習の概念とその思想や施策、生涯を通じた学習の意義と役割、特に社会教育における生涯学習の機会や学習活動の実際、関連法規や政策・制度など、生涯学習を理解する上で必要な事項を講義する。生涯学習をめぐる動向や身近な学習活動への関心を育て、学習者としての自覚と態度を培うことをめざす。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	生涯学習・生涯教育、社会教育、学校教育、家庭教育：用語の解説、授業についての説明
2	社会教育の歴史と意義：戦前の社会教育の特徴と戦後の住民主体の社会教育について
3	生涯教育・生涯学習論の展開（1）：生涯教育論の登場、学習社会論、リカレント教育論について
4	生涯教育・生涯学習論の展開（2）：日本において生涯教育・生涯学習施策はどう展開してきたか
5	生涯各期の学習課題と学習：人間の生涯にどのような学習が必要か、学習課題にそって考える
6	生涯各期の学習とその支援：生涯各期に必要な学習の内容とそのための支援方法を考える
7	生涯学習の振興施策と行政組織：「生涯学習社会」実現のための取り組みとその現況について
8	社会教育法と社会教育行政：生涯学習振興行政の中核となる社会教育行政の仕組みについて
9	生涯学習・社会教育の機会：さまざまな学習機会を提供主体別にとらえる
10	生涯学習・社会教育の内容・形態・方法：学習内容の種類や傾向、学習の形態・方法について
11	生涯学習・社会教育のための施設：学習の場となる施設の種類、社会教育施設の機能と役割
12	生涯学習・社会教育の支援者：学習の支援者の種類と役割について
13	学校と生涯学習：生涯学習時代において学校に求められる役割は何か
14	生涯学習の課題と展望（1）：学習成果の評価、市民と行政の協働など、生涯学習をめぐる諸課題
15	生涯学習の課題と展望（2）：学ぶことと力を得ること

【履修上の注意事項】

これまで自分が体験してきた教育・学習を振り返るとともに、今後の自分の生き方や学びを考えながら、生涯学習や社会教育について具体的なイメージを形成できるよう、能動的に授業にのぞんでほしい。

【評価方法】

期末試験：70%

出席状況、授業への参加態度と貢献度、授業時あるいは課題のレポートの内容と提出状況：30%

【テキスト】

特に指定しない。適宜、プリントを配布する。

【参考文献】

授業内で紹介する。

博物館実習

担当教員 青木 淳

配当年次 4年

単位区分 学芸員課程履修者必修

開講時期 集中

授業形態 実習

単位数 3.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

博物館学芸員の在り方の基本を理解した上で、それを実際的に活用することによって、学芸員としての学習の最終段階とする。

【授業の展開計画】

<見学実習>

美術館・博物館の見学（7館以上）を行ない、報告書をまとめる。

<博物館実習>

1～3 実習ガイダンスと美術品等の取り扱いについての基本

4～19 博物館務実習 実際の博物館・美術館で担当学芸員の指導を受ける。

多摩美術大学美術館、学外の美術館・博物館で、実践を通じて学芸員の仕事のあり方を学び体験する。

20～21 実習ノートの作成

【履修上の注意事項】

美術館での実習は館によって規則・指導方法が異なるので、ルールに従って学習することが必要です。博物館実習は、3年次までに博物館学芸員課程の必修科目を8単位以上修得していないと履修できません。

【評価方法】

1. 博物館実習ノート 2. 美術館・博物館での実習 3. 出席（総合評価）

【テキスト】

必要に応じて指示する。

【参考文献】

必要に応じて指示する。

博物館概論

担当教員 嶋村 元宏

配当年次 1～4年

単位区分 学芸員課程履修者必修

開講時期 前期

授業形態 講義

単位数 2.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

博物館に関する基礎的知識を理解し、専門性の基礎となる能力を養う。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	開講にあたって : 博物館学の目的・方法・構成
2	博物館学序説(1) : 博物館の定義・分類
3	博物館学序説(2) : 博物館学史
4	博物館の歴史(1) : 欧米におけるMuseumの誕生
5	博物館の歴史(2) : 日本における博物館・美術館の誕生
6	博物館関係主要法令(1) : 文化財保護法
7	博物館関係主要法令(2) : 博物館法
8	博物館関係主要法令(3) : 美術品の美術館における公開の促進に関する法律
9	博物館の現状と課題(1) : 博物館を取り巻く昨今の動向
10	博物館の現状と課題(2) : 博物館登録制度
11	博物館の現状と課題(3) : 博物館運営
12	博物館の現状と課題(4) : 博物館評価
13	博物館の現状と課題(5) : 学芸員制度の諸問題
14	博物館の現状と課題(6) : これからの学芸員に求められること
15	閉講にあたって : 博物館の未来

【履修上の注意事項】

博物館学芸員資格の取得に熱意のある者、および博物館（美術館）に関心のある者を対象にした授業です。「文化史」あるいは「美術史」に関する科目を履修していることが望ましい。この科目は、他の「博物館に関する科目」の前提をなすものであり、最初に履修することを勧めます。

【評価方法】

レポート：50点 筆記試験：50点

【テキスト】

「新しい時代の博物館制度の在り方について」これからの博物館の在り方に関する検討協力者会議（文部科学省）（非売品のため、入手方法は授業中に指示する）

【参考文献】

「博物館学への招待」リュック・ブノワ著／水島英治訳（【文庫クセジュ】白水社）

「博物館への挑戦 何がどこまでできたのか」日高真吾・園田直子編（美術の図書 三好企画）

博物館資料論

担当教員 嶋村 元宏

配当年次 1～4年

単位区分 学芸員課程履修者必修

開講時期 後期

授業形態 講義

単位数 2.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

博物館資料の収集、整理保管等に関する理論や方法に関する知識・技術を習得し、また博物館の調査研究活動について理解することを通じて、博物館資料に関する基礎的能力を養う。

【授業の展開計画】

週	授業の内容	
1	博物館資料の概念（1）	: 博物館資料の定義と種類
2	博物館資料の概念（2）	: 「モノ」から博物館資料へ
3	博物館資料の取扱（1）	: 美術・工芸資料と歴史資料の取扱
4	博物館資料の取扱（2）	: 考古・民俗資料の取扱
5	博物館における調査研究活動（1）: 意義と内容	
6	博物館における調査研究活動（2）: 博物館資料に関する調査研究	
7	博物館における調査研究活動（3）: 資料保存に関する調査研究	
8	博物館における調査研究活動（4）: 博物館に関する調査研究	
9	博物館における調査研究活動（5）: 調査研究成果の還元	
10	博物館資料の収集（1）	: 理念
11	博物館資料の収集（2）	: 方法
12	博物館資料の整理・保管（1）	: 整理と分類
13	博物館資料の整理・保管（2）	: 目録の作成
14	博物館資料の活用 : 資料公開の理念と方法	
15	総括 : 博物館にとっての資料	

【履修上の注意事項】

博物館概論を前もって履修すること。

【評価方法】

レポート：50点 筆記試験：50点

【テキスト】

「学芸員の仕事」神奈川県博物館協会編（岩田書院）

【参考文献】

「博物館資料論と調査」段木一行（雄山閣出版）

「博物館実習マニュアル」全国大学博物館学講座協議会西日本部会（芙蓉書房出版）

博物館経営論

担当教員 浅倉 祐一朗

配当年次 1～4年

単位区分 学芸員課程履修者必修

開講時期 後期

授業形態 講義

単位数 2.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

博物館を主として構造・経営・事業の面から検討し、その適切な管理・運営について基礎的能力を養う。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	総論 博物館経営とは
2	博物館の構造 条件
3	博物館の構造 施設と設備
4	博物館の構造 組織
5	博物館の構造 職員
6	博物館の経営 財政
7	博物館の経営 広報
8	博物館の経営 マーケティング
9	博物館の経営 サービス
10	博物館の事業 展覧会
11	博物館の事業 教育普及
12	博物館の事業 市民参加
13	博物館の事業 連携
14	博物館の事業 その他
15	まとめ

【履修上の注意事項】

単なる机上の理論として習得するだけではなく、具体的に自らが関わる場として博物館を捉えるという姿勢が望ましい。

【評価方法】

試験（70％） 出席（30％） 必要に応じてレポートを課す

【テキスト】

とくに使用しない。

【参考文献】

必要に応じてプリントを配布し、参考図書等を指示する。

博物館教育論

担当教員 西谷 成憲 青木 淳

配当年次 1～4年

単位区分 学芸員課程履修者必修

開講時期 前期

授業形態 講義

単位数 2.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

博物館や美術館は今日では社会に開かれた教育施設の1つとしての役割が上げられる。学校教育やその延長線上にある生涯学習の場としていかに今後活用されるかという問題を学校教育と博物館がいかなる接点を創造できるのか考えてみたい。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス
2	博物館と教育の可能性 1 なぜ博物館が必要か
3	博物館と教育の可能性 2 地域の歴史を読み解く
4	博物館と教育の可能性 3 ワークショップを創造する
5	博物館と教育の可能性 4 ワークショップを創造する 2
6	博物館と教育の可能性 5 学校教育と博物館の連携
7	個性的な美術館と博物館
8	人間の教育と発達
9	教育の伝達観と助成観（ルソーを中心に）
10	教育の伝達観と助成観（フレーベルを中心に）
11	義務教育の理念と歴史（森有礼の教育改革）
12	戦後教育の理念と歴史（憲法・教基法を中心に）
13	学習指導要領の変遷と教育改革の動向
14	小・中学校における鑑賞学習の取り組み
15	総括

【履修上の注意事項】

今日多くの美術館や博物館では従来の展示施設としての役割ばかりではなく、乳幼児から高齢者まで参加できるワークショップがひらかれている。そうした企画に自ら積極的に参加してほしい。

【評価方法】

熱意・出席・レポート（総合評価）

【テキスト】

必要に応じて配布する

【参考文献】

必要に応じて紹介する

博物館情報・メディア論

担当教員 檜山 茂雄

配当年次 1～4年

単位区分 学芸員課程履修者必修

開講時期 前期

授業形態 講義

単位数 2.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

視聴覚メディアは生活に不可欠な文化情報源となっています。社会における博物館のもつ位置づけも、知的・創造文化情報源として、共有活用と理解を必要としています。今日の映像メディアはそれらの有効な手だてだとも言えます。私たちは映像情報（発信者と受け手と内容）について考え、上手な映像情報メディアの扱いに心掛けなければなりません。授業では映像の発達と性質・特徴・文化にふれながら、博物館での情報とメディアのあり方やコミュニケーションを考えてみることで、今日の学芸員活動に役立てて欲しいと考えます。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	視聴覚の特性 音と画像のもたらず世界
2	視聴覚利用のメディア特性 映像前史・残像現象とカラクリボックス
3	映画の誕生 文字文化と映像文化。駒・ショット・シーンが生み出すもの
4	映画と表現 映画が社会に与えたもの。トーキー・カラー文化・デジタル
5	映像と教育 imprinting. 社会が映像を利用、学習すること
6	映像メディア時代とコミュニケーション 同時性と社会変化
7	映像文化とメディア 情報と映像
8	映像の意味 利用と提示について。イメージとメッセージを作る
9	メディア機器とシステム
10	博物館情報・映像制作と発信 パッケージと受け取り方
11	博物館情報・映像と光 映像は時間/色は光/フレームに描く伝える世界
12	博物館情報・映像と情報 情報世界における博物館文化と利用
13	映像アーカイブ 伝える映像文化について
14	情報文化と教育
15	まとめ

【履修上の注意事項】

学芸員必修科目である。

教室の容量を超える履修希望者があった場合は、担当教員の判断により人数制限をすることがある。（その場合は原則として上級生が優先）

教員との連絡方法：hiyama@tamabi.ac.jp

【評価方法】

平常点70点（出席点・課題点）と最終レポート提出30点

【テキスト】

資料を随時渡して進める。

【参考文献】

「日本映画技術史」（（社）日本映画テレビ技術協会）など、随時薦める。

博物館資料保存論

担当教員 浅倉 祐一郎

配当年次 1～4年

単位区分 自由

開講時期 後期

授業形態 講義

単位数 2.0

準備事項

備考

【授業のねらい】

博物館における資料保存の問題を、主としてその環境と被害という面から考察し、良好な状態で保存するための基礎的能力を養う。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	総論 保存とは
2	保存科学の歴史
3	保存科学の方法
4	保存環境と被害 温湿度
5	保存環境と被害 光
6	保存環境と被害 空気
7	保存環境と被害 生物（虫）
8	保存環境と被害 生物（菌）
9	保存環境と被害 衝動・振動
10	保存環境と被害 災害
11	材質と処理 紙
12	材質と処理 絵画
13	材質と処理 彫刻
14	材質と処理 その他
15	まとめ

【履修上の注意事項】

博物館における資料保存はすべての活動の基本であることをしっかり理解した上で臨んでほしい。

【評価方法】

試験（70％） 出席（30％） 必要に応じてレポートを課す

【テキスト】

とくに使用しない。

【参考文献】

必要に応じてプリントを配布し、参考資料等を指示する。

博物館展示論

担当教員 浅倉 祐一郎

配当年次 1～4年

単位区分 自由

開講時期 前期

授業形態 講義

単位数 2.0

準備事項

備考

【授業のねらい】
博物館における展示の歴史、方法、形態等を考察し、展示に関する基礎的能力を養う。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	総論 展示とは
2	展示の歴史
3	展示の方法 設備
4	展示の方法 装置
5	展示の形態
6	展示の形態
7	展示の形態
8	常設展示の実際 基本的要素とプランニング
9	常設展示の実際 製作・施工と評価
10	企画展示の実際 基本的要素とプランニング
11	企画展示の実際 製作・施工と評価
12	展示活動の現実 歴史博物館・美術館
13	展示活動の現実 自然史博物館・科学博物館
14	展示活動の現実 その他
15	まとめ

【履修上の注意事項】
展示する学芸員の立場に立ちながらも、常に来館者として見る立場を忘れないようにすることが望ましい。

【評価方法】
試験（70％） 出席（30％） 必要に応じてレポートを課す

【テキスト】
とくに使用しない。

【参考文献】
必要に応じてプリントを配布し、参考資料等を指示する。